Care and Maintenance

UV INKJET PRINTER

JFX220-2515

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203990-10
Original instructions

目次

はじめに 3
安全にお使いいただくために 4
　マーク表示について 4

メンテナンス

1. 日常のお手入れ 6
　お手入れのご注意 6
　メンテナンス液について 6
　お手入れを行うタイミング 7
　外装のお手入れ 8
　テーブルのお手入れ 8
　MBISのお手入れ 9
　LMガイドの清掃 11
　イオナイザーのお手入れ 11
　ミストフィルターの清掃 11
　UV LEDフィルターの清掃 13
2. キャッピングステーションのメンテナンス 15
　ワイパーとキャップの清掃 15
　NCUの清掃 20
　ステーション周辺の清掃 21
　インク排出路の洗浄 22
3. ヘッド周辺のメンテナンス 24
　UV LEDユニットの清掃 26
　DASセンサー、測距センサーの清掃 27
4. ヘッドノズル面のメンテナンス 28
5. ノズル詰まりが復旧しない場合 30
　サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う 30
　ヘッドノズルの洗浄 31
　ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時) 33
　空気抜きを行う 37
　ノズルリカバリー機能 41
6. オートメンテナンス機能 49
　リフレッシュ間隔を設定する 49
　クリーニング間隔を設定する 50
7. 消耗品の交換 52
　ワイパーを交換する 52
　キャリッジフィルターの交換 54
　廃インクの廃棄 55
　インクボトルキャップの交換 58
　ミストフィルターの交換 59
　UV LEDフィルターの交換 61
　UV LEDガラスの交換 62
8. フラッシングフィルターについて 64
　フラッシングフィルターを交換する 64

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター JFX220-2515をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- JFX220-2515（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

● マーク表示の例

		内　容
⚠警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
⚠注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は△の中に描かれます。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は●の中に描かれます。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は⃠の中に描かれます。
重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	ヒント	知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. 日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れのご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



- UV LED装置は非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、UV LED装置消灯後、十分温度が下がってから行ってください。やけどのおそれがあります。



- 電源ボタンをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
- 長期間使用しない場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、セットしてあるメディアを取り除いてください。





- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。



- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。
- UVインク（紫外線硬化インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面およびヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどへは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。



- 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。



- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

メンテナンス液について

メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス液
UVインク	• F-200/LF-200 メンテナンス液（品番：SPC-0568） • F-200/LF-200 メンテナンス液キット（品番：SPC-0569）

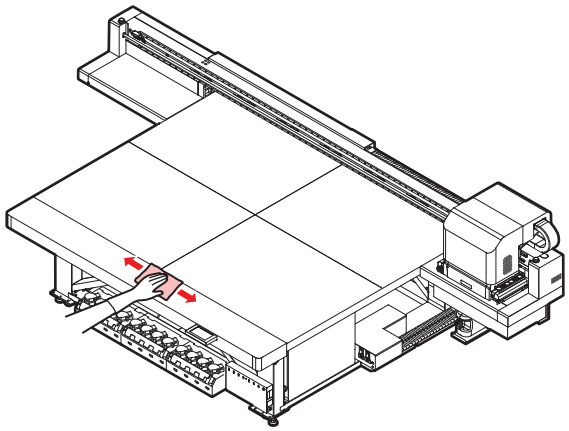
お手入れを行うタイミング

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目（参照ページ）
毎日（1日の作業終了後）	☞「ヘッド周辺のメンテナンス」（P. 24）
	☞「ヘッドノズル面のメンテナンス」（P. 28）
	☞「ワイパーとキャップの清掃」（P. 15）
	☞「NCUの清掃」（P. 20）
1週間に2回	☞「ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)」（P. 33）(PR-200Ver.2の場合)
1週間に1回（週末の作業後）	☞「外装のお手入れ」（P. 8）
	☞「テーブルのお手入れ」（P. 8）
	☞「インク排出路の洗浄」（P. 22）
	☞「廃インクの廃棄」（P. 55）
	☞「ステーション周辺の清掃」（P. 21）
1~2週間に1回程度	☞「キャリッジフィルターの交換」（P. 54）
	☞「MBISのお手入れ」（P. 9）
1ヶ月に1回	☞「ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)」（P. 33）(PR-200Ver.3の場合)
	☞「ミストフィルターの清掃」（P. 11）
	☞「UV LEDフィルターの清掃」（P. 13）
エラーが表示された場合	☞「ワイパーを交換する」（P. 52）
必要に応じて行うお手入れ	☞「UV LEDユニットの清掃」（P. 26）
	☞「イオナイザーのお手入れ」（P. 11）
	☞「インクボトルキャップの交換」（P. 58）

お手入れに必要な道具	
F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液（品番：SPC-0568）	PR-200 メンテナンス洗浄液（品番：C-ML013-Z-B2-1-KW） *PR-200インク使用時
綿棒	ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）
柔らかい布	手袋

外装のお手入れ

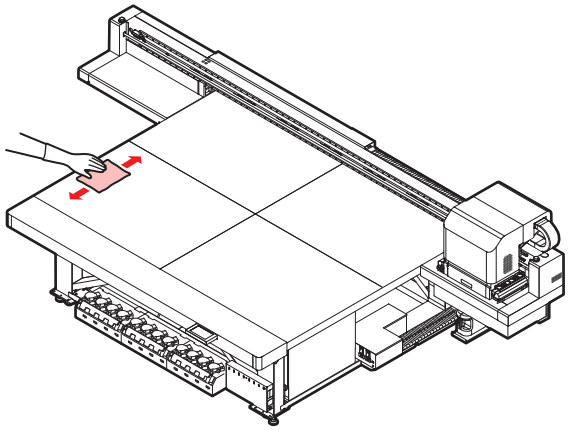
使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。



テーブルのお手入れ

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。また、メディアを正常に吸着できなくなる恐れがあります。



- テーブル清掃に、アセトン等の有機溶剤を直接使用しないでください。テーブル表面の塗装が剥がれる恐れがあります。
  エタノールを染み込ませたペーパータオルによる清掃は可能です。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

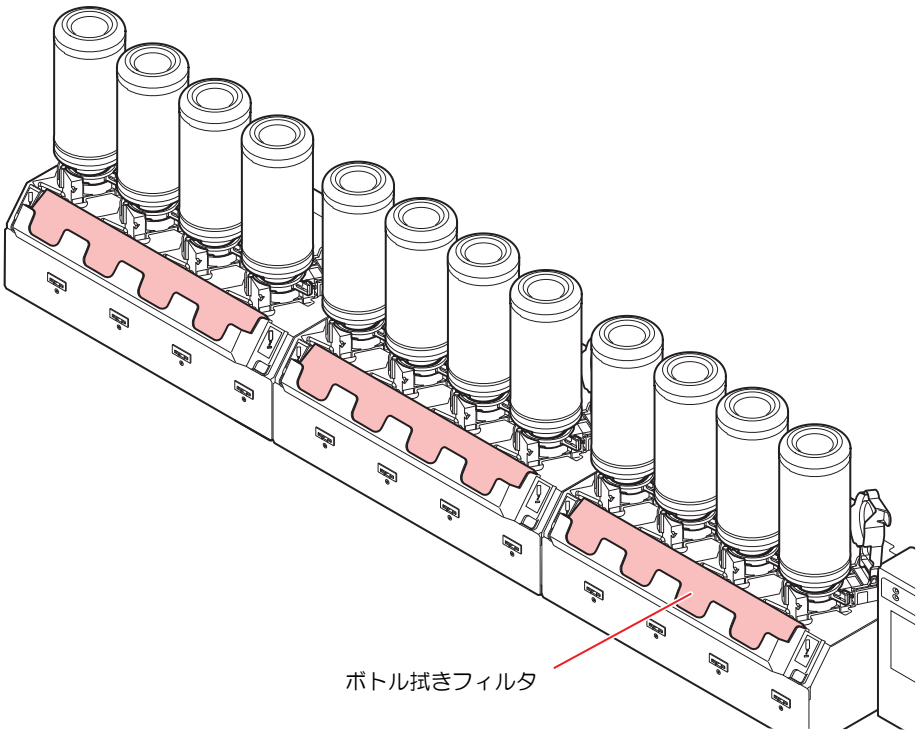
- どうしてもIPAやエタノールを使用してテーブル面に付着したインクや色移りを清掃したい場合は、柔らかい布または、ペーパタオル等に有機溶剤を少量含ませてからふき取ってください。この時、テーブル内部に有機溶剤が絶対に染み込まないよう注意してください。
- やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで、ゴミやインク固形物などをこまめに除去してください。
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- テーブル周囲の溝やネジ穴などは、特に汚れがたまりやすいため、こまめに清掃をしてください。
- 板面に硬化してしまったインクを、ヘラ等を使って除去することも可能ですが、板面をキズ付けないよう十分注意してください。

MBISのお手入れ

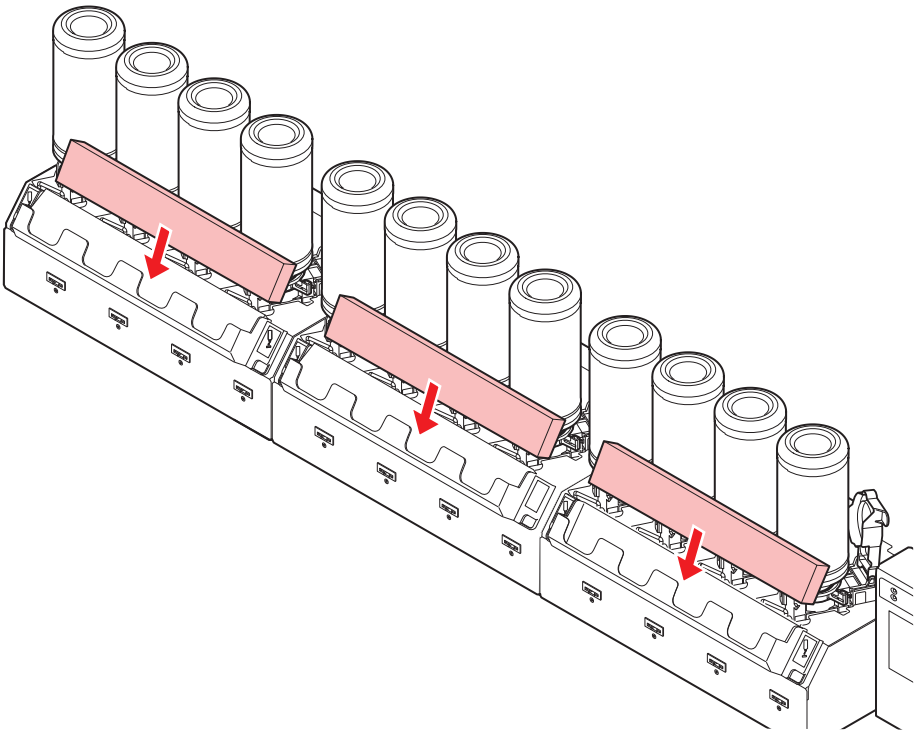
ボトル拭き取りフィルタ（品番：SPC-0820）の汚れが気になるときに交換してください。

- 操作パネルを奥に押し込んだ状態で本作業を行ってください。作業時は、操作パネルおよびテーブルに頭部を接触させないよう注意してください。

1 ボトル拭き取りフィルタを取り出す。



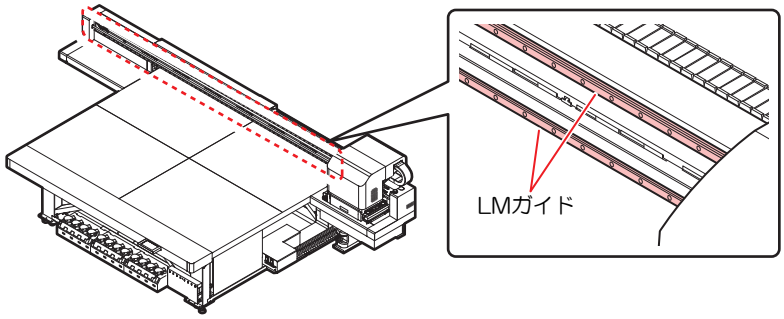
2 新しいボトル拭き取りフィルタ（品番：**SPC-0820**）を取り付ける。



LMガイドの清掃

LMガイドが汚れたときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

重要！ • エタノールで拭かないでください。



イオナイザーのお手入れ

イオナイザー（オプション）の取扱説明書に従って、メンテナンスを行ってください。

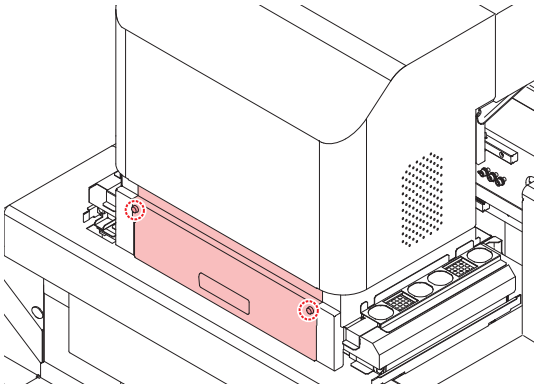
ミストフィルターの清掃

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

重要！ • ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出する際に発生するミストを吸収する部品です。汚れた状態で使用を続けると、成果物を汚染する原因となります。フィルターは1か月に1回を目安に清掃してください。

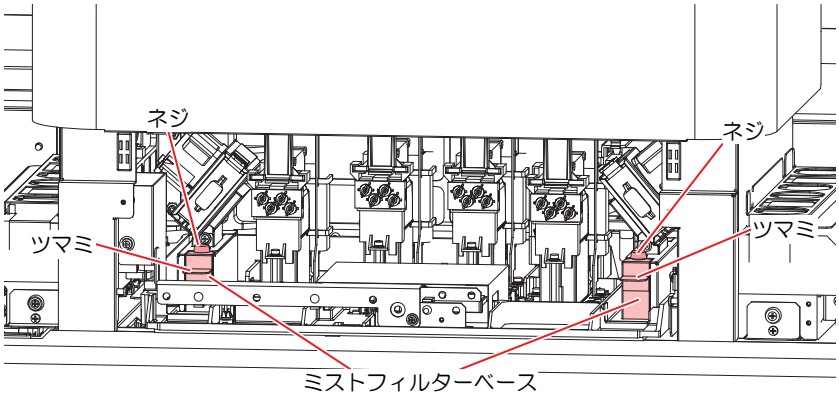
1 **キャリッジカバーDCを取り外す。**

• ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。

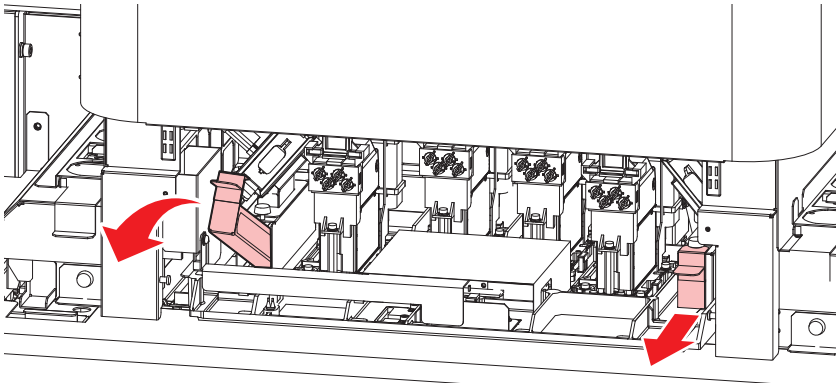


2 固定ネジを緩めミストフィルターベースを引き抜く。

- ツマミを手前に引いて外します。



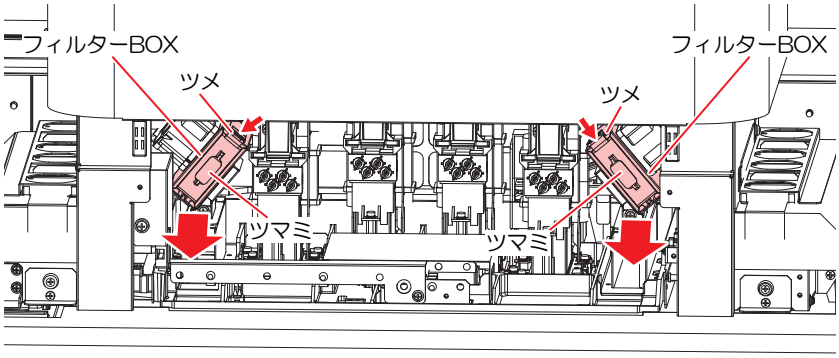
- 左側は上にあげながら引き抜きます。



3 フィルターBOXを引き抜く。

- 爪を押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

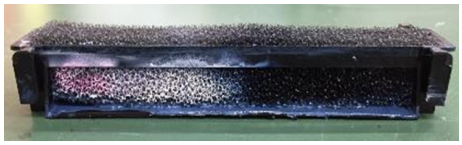
- 爪のある方向に持ち上げながら、爪を外すと簡単に外れます。



4 フィルターを清掃する。

- フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
- フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。

- フィルターについたインクが液状化するなど、汚れが激しい場合は、フィルターを交換してください。
☞「ミストフィルターの交換」（P. 59）



5 ミストフィルターを差し込む。

6 手順2で外した固定ネジを締める。

7 フィルターBOXを差し込む。

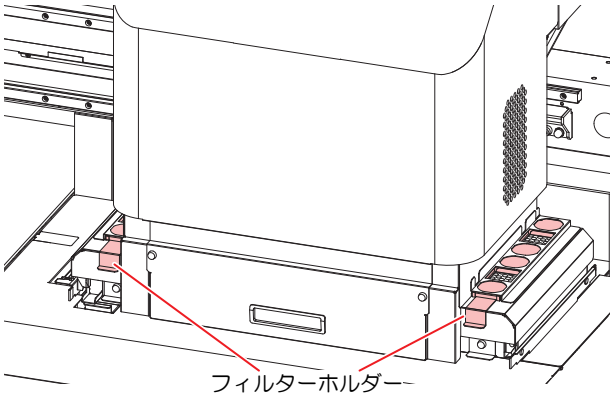
- カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。

8 キャリッジカバーDCを閉じる。

UV LEDフィルターの清掃

UV LEDフィルタの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

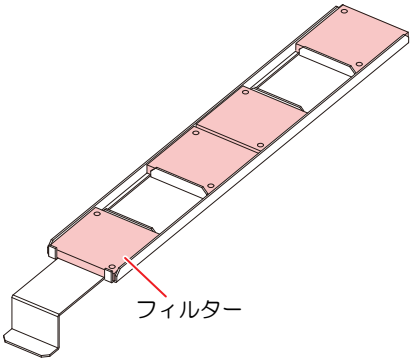
1 フィルターホルダーを引き抜く。



2 フィルターを清掃する。

- フィルターを外して紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。

- フィルターの汚れが激しい場合は交換して下さい。☞「UV LEDフィルターの交換」（P. 61）



3 フィルターホルダーを元に戻す。



- 奥まで挿し込み、マグネットにより固定されていることを確認してください。

2. キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーなどのメンテナンスをします。（ステーションメンテナンス）

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ワイパー：
  ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- インクキャップ：
  ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリなどでワイパーやインクキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行ヘッドクリーニングをするしても、ノズル抜けが解消されない場合は、 メンテナンス用洗浄液とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	• F-200/LF-200 メンテナンス用洗浄液（品番：SPC-0568）	• 保護メガネ
	• ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）	• 手袋




- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



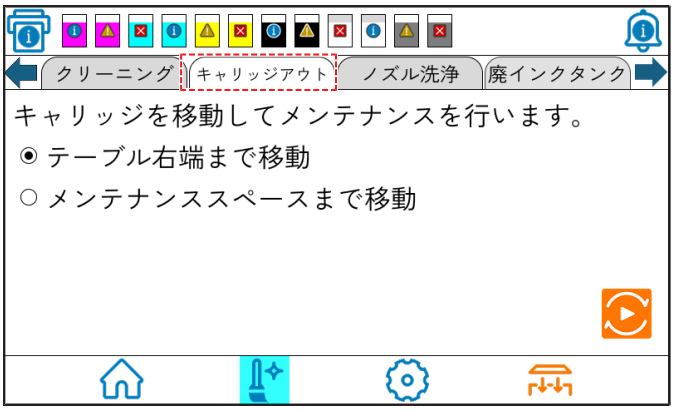
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[MAINT.]キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。
  ☞「ワイパーとキャップの清掃」（P. 15）(手順1 ～ 2)
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。

ワイパーとキャップの清掃

重要！

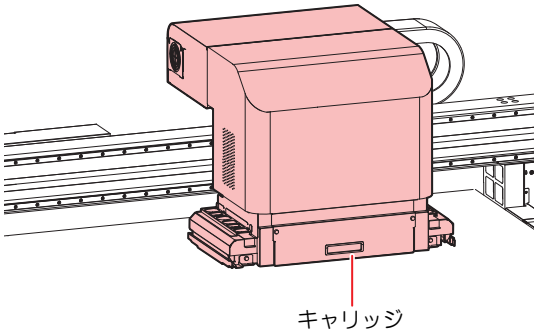
- 1日の作業終了後（プリンタの使用頻度により異なります）、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。
  ☞「ワイパーを交換する」（P. 52）
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1 メンテナンス画面の[キャリッジアウト]をタップする。



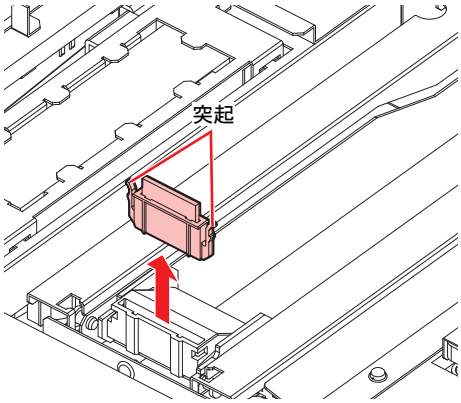
2 [テーブル右端まで移動]を選び をタップする。

- キャリッジがテーブル上に移動します。



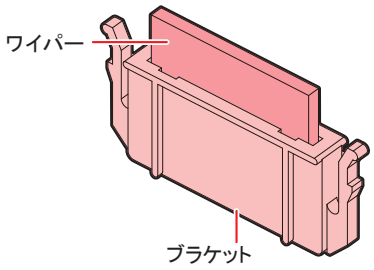
3 ワイパーを取り出す。

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



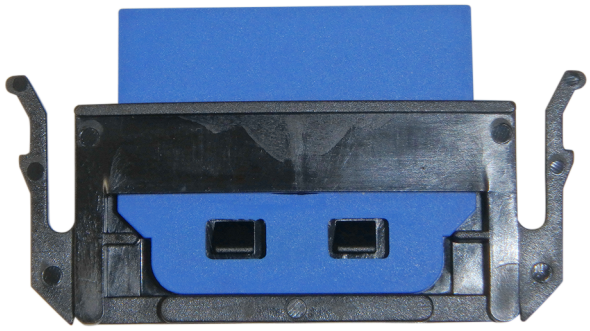
4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要!

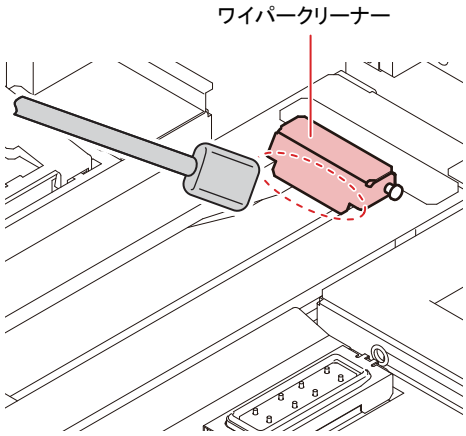
- 写真のような状態になるまで、清掃してください。



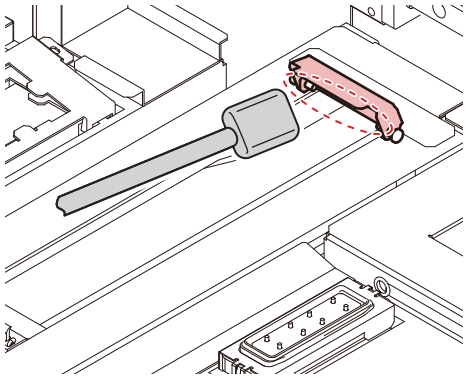
- 清掃後はワイパーとブラケットが水平になっていることを確認してください。

5 ワイパークリーナーを清掃する。

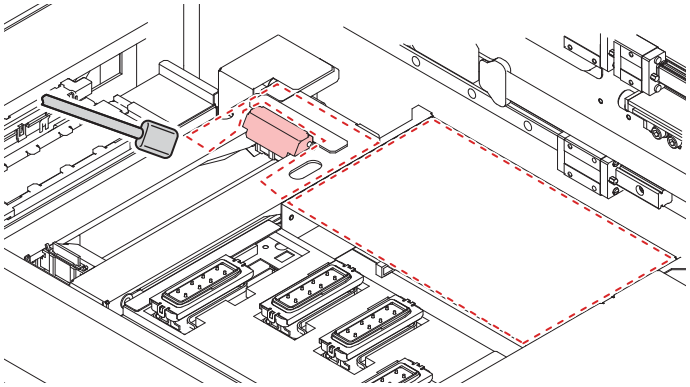
- ワイパークリーナーの先端をクリーンスティックで拭き取ります。



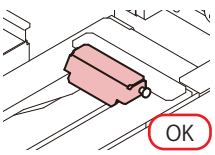
- ワイパークリーナーを上へ持ち上げて、内部に付着したインクをクリーンスティックで清掃します。

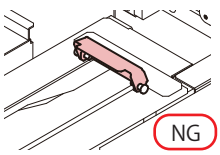


- ワイパークリーナーの周辺とシャッターカバーを清掃します。



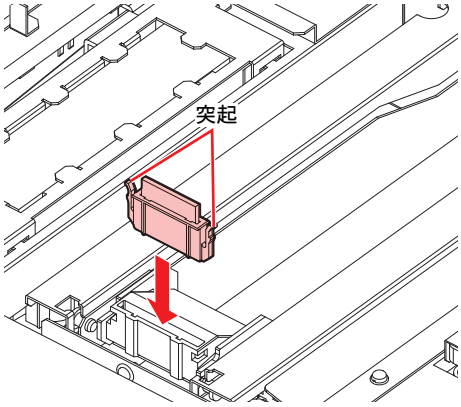
- ワイパークリーナーはブラケットから取り外さないでください。
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面のみ清掃します。(裏面は清掃の必要はありません)
- ワイパークリーナー清掃後は、クリーナーが上を向いていないことを確認してください。





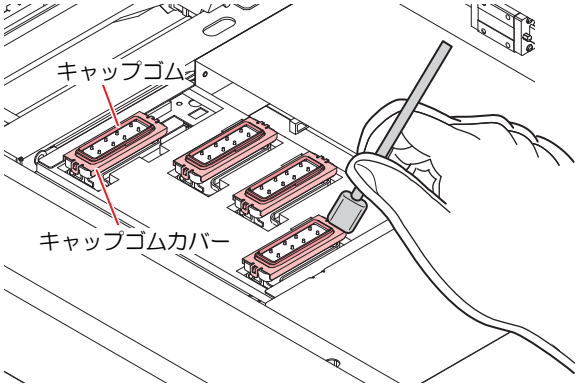
6 ワイパーを元の位置に戻す。

- ワイパーの両端を持って差し込みます。



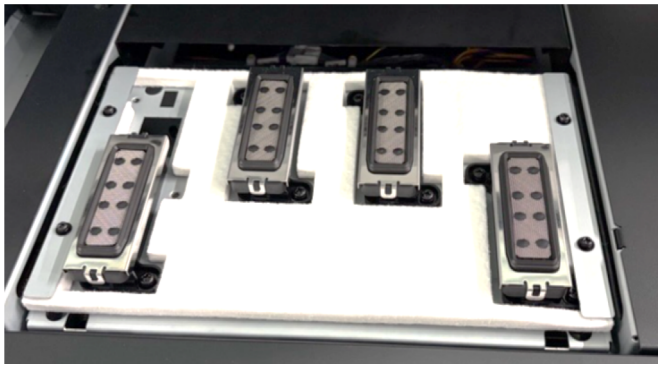
7 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
  メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要!

- 写真のような状態になるまで、清掃してください。



- 清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。

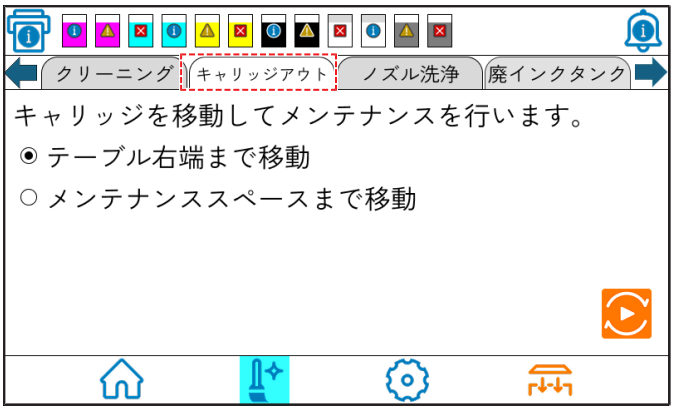
8 清掃が終了したら、[ワイパー清掃][キャップ清掃]の[実施]にチェックを入れ、をタップする。

- キャリッジが元の位置に戻ります。

NCUの清掃

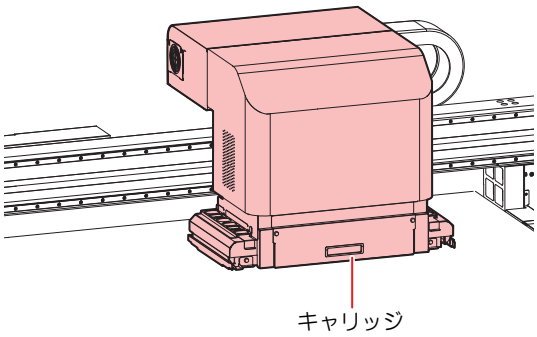
NCUにはインクやホコリが付着します。
インクやホコリが付着していると、正常な動作ができなくなる場合があります。

1 メンテナンス画面の[キャリッジアウト]をタップする。



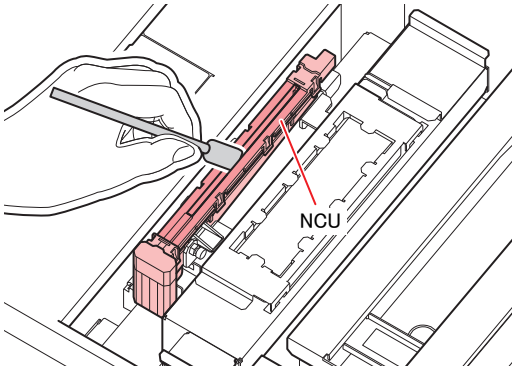
2 [テーブル右端まで移動]を選び をタップする。

- キャリッジがテーブル上に移動します。



3 NCUに付着したインクやホコリを拭き取る。

- メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティック（SPC-0421）で、表面と内側を拭き取ります。
- メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



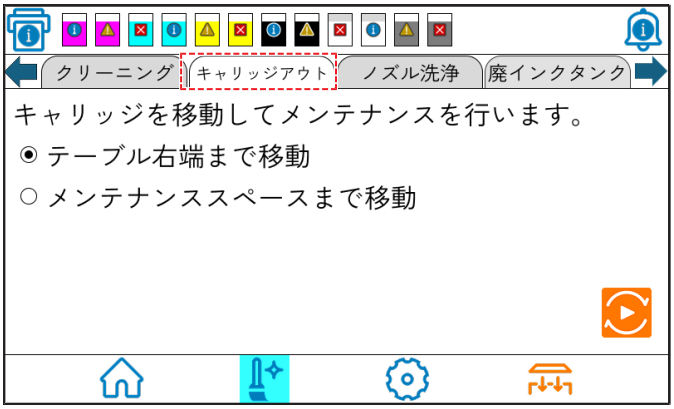
4 清掃が終了したら、 をタップする。

ステーション周辺の清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

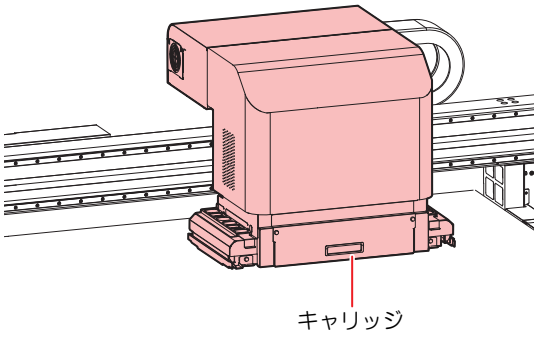
重要！
- 週に1回程度（プリンタの使用頻度により異なります）、ステーション周辺の清掃をしてください。
- 廃インクトレーに残っているインクがUV光により硬化すると、フラッシング時に吐出したインクが廃インクボトルに移動できなくなります。廃インクトレーはこまめに清掃されることをお勧めします。

1 メンテナンス画面の[キャリッジアウト]をタップする。



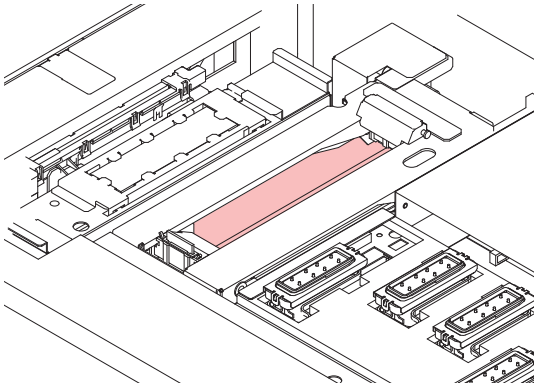
2 [テーブル右端まで移動]を選び  をタップする。

- キャリッジがテーブル上に移動します。
- 廃インクトレーを清掃してください。



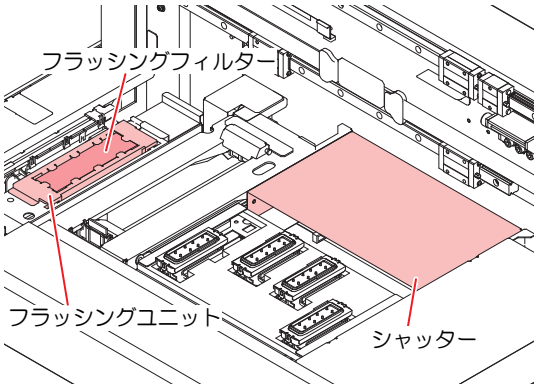
3 ウエスなどを使って、廃インクトレー周辺に付着したインクを拭き取る。

- 下図のピンク色の部分を清掃してください。
- インクが固着して拭き取れない場合は、へらなどを使ってこそぎ落としてください。



4 フラッシングユニットやシャッター部に付着したインクを拭き取る。

- クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませ、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要!
- フラッシングフィルターの表面が毛羽立っている場合は、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときや、硬化してしまった場合は、フラッシングフィルターを交換してください。「フラッシングフィルターについて」（P. 64）

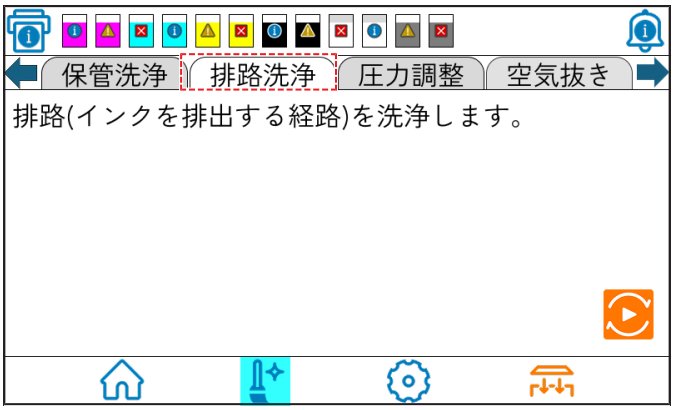
5 清掃が終了したら、をタップする。

- キャリッジが元の位置に戻ります。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。

1 メンテナンス画面の[排路洗浄]をタップする。

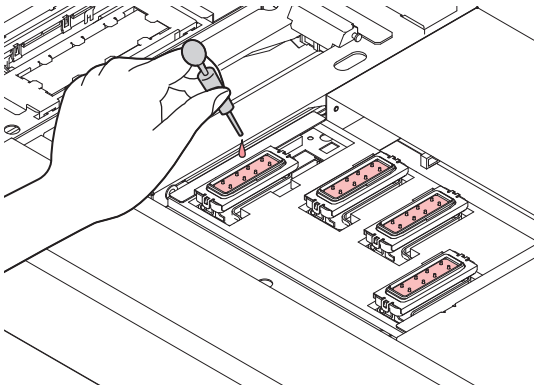


2 をタップする。

- キャリッジがテーブル上に移動します。

3 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



4 をタップする。

- 30秒間空吸引を実行した後、キャリッジが戻り、手順1の表示に戻ります。

3. ヘッド周辺のメンテナンス

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。

スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	• ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）	• 保護メガネ	• 手袋



- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。





- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。

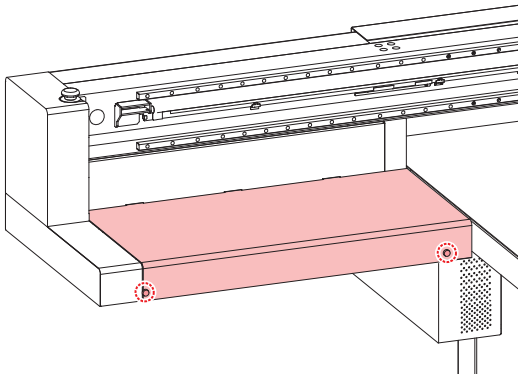


- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイプ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

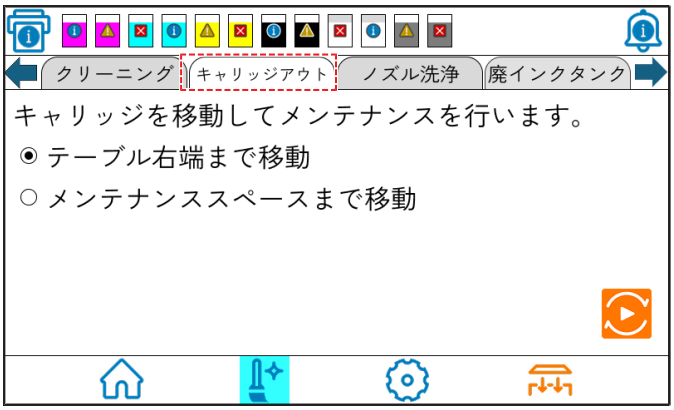
1 **ヘッドクリーニング[ノーマル]を実施する。ヘッドクリーニングをする**

2 **Yバー左側のカバーを外す。**

- 化粧ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。



3 メンテナンス画面の[キャリッジアウト]をタップする。

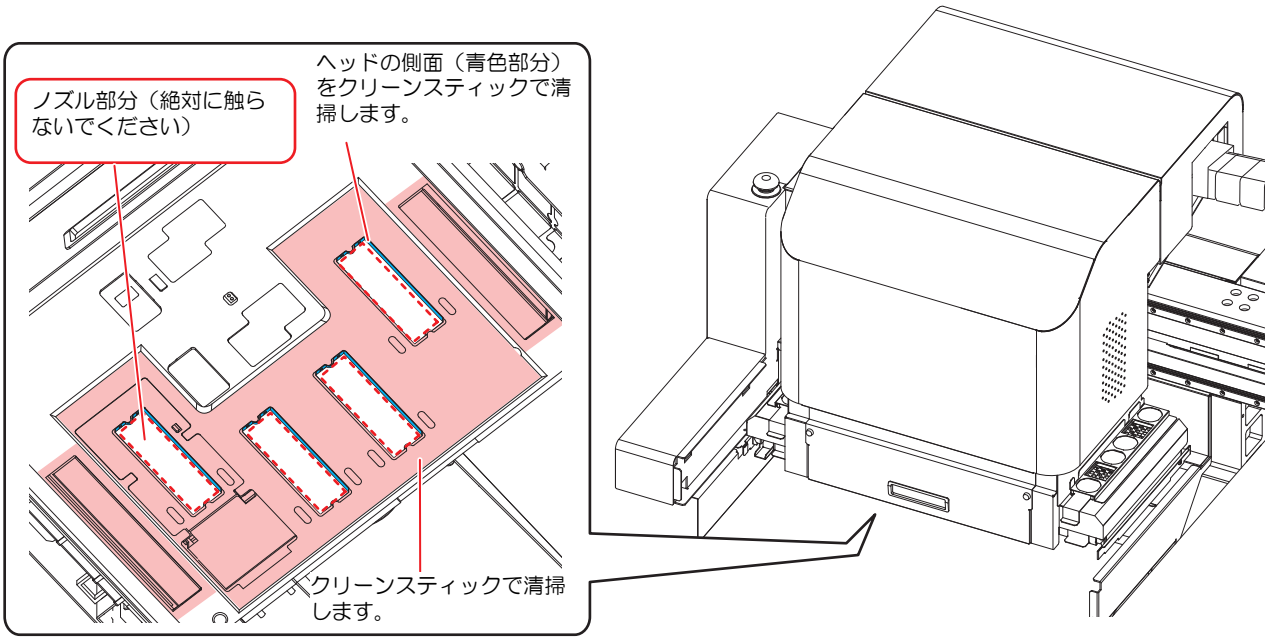


4 [メンテナンススペースまで移動]を選択する。

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

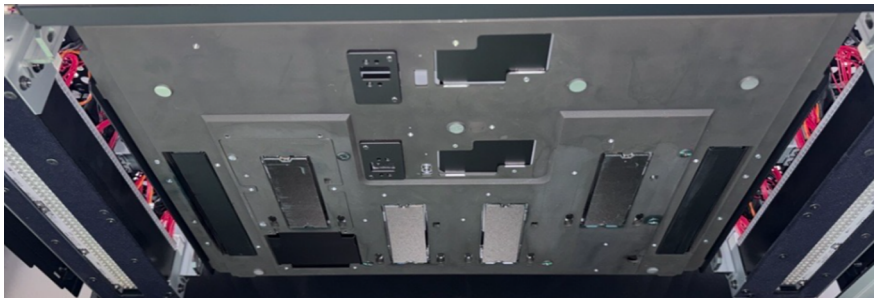
5 ヘッドの側面やキャリッジ下面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る。

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



重要！

- 写真のような状態になるまで、清掃してください。
- ノズル面にキャップゴムの形が付いている場合、ノズル面も清掃してください。
- メンテナンス途中で席を離れる場合、[ENTER]キーを押して清掃を終了してください。そのまま放置すると、外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まり等の弊害を及ぼす恐れがあります。



UV LEDユニットの清掃

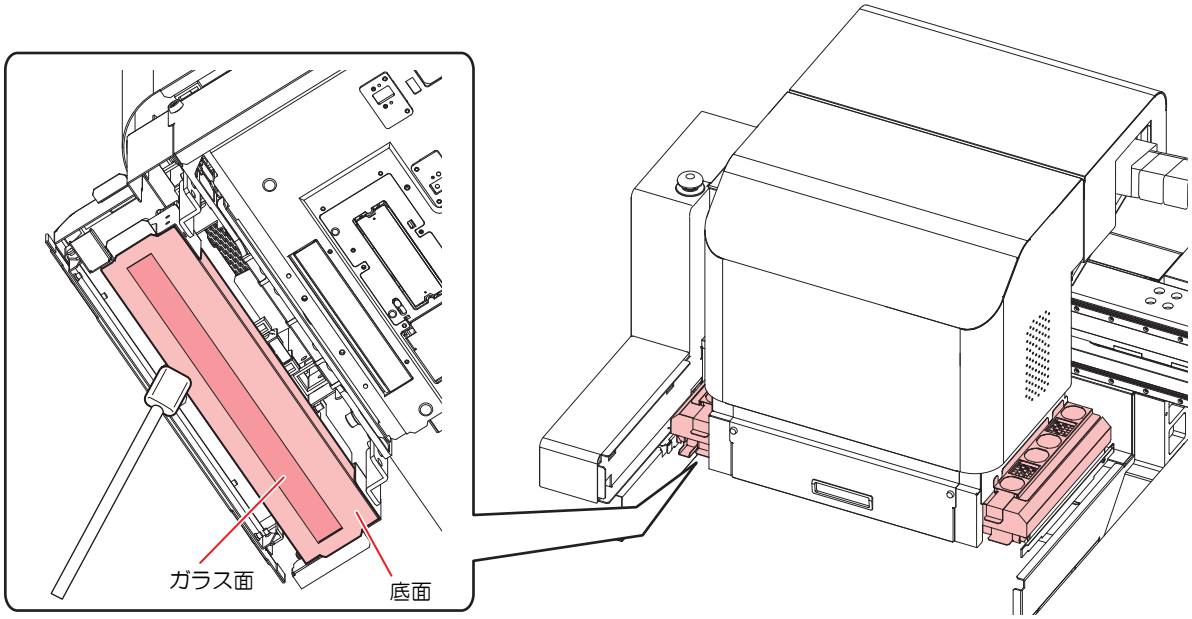
UV LEDユニットの底面やガラス面に付着したインクやホコリなどを定期的に清掃してください。

重要！
- UV LEDの清掃時には、ユニット下面の照射部を傷つけないように注意して、丁寧に清掃してください。照射部に一定以上の汚れや遮光物があると、インクの硬化不良によるバンディングが発生する原因になります。

- UV LEDユニットのみ清掃したい場合は、ヘッド周辺のメンテナンス手順１～3を実施してキャリッジを移動させてから清掃してください。

1 UV LEDユニットを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



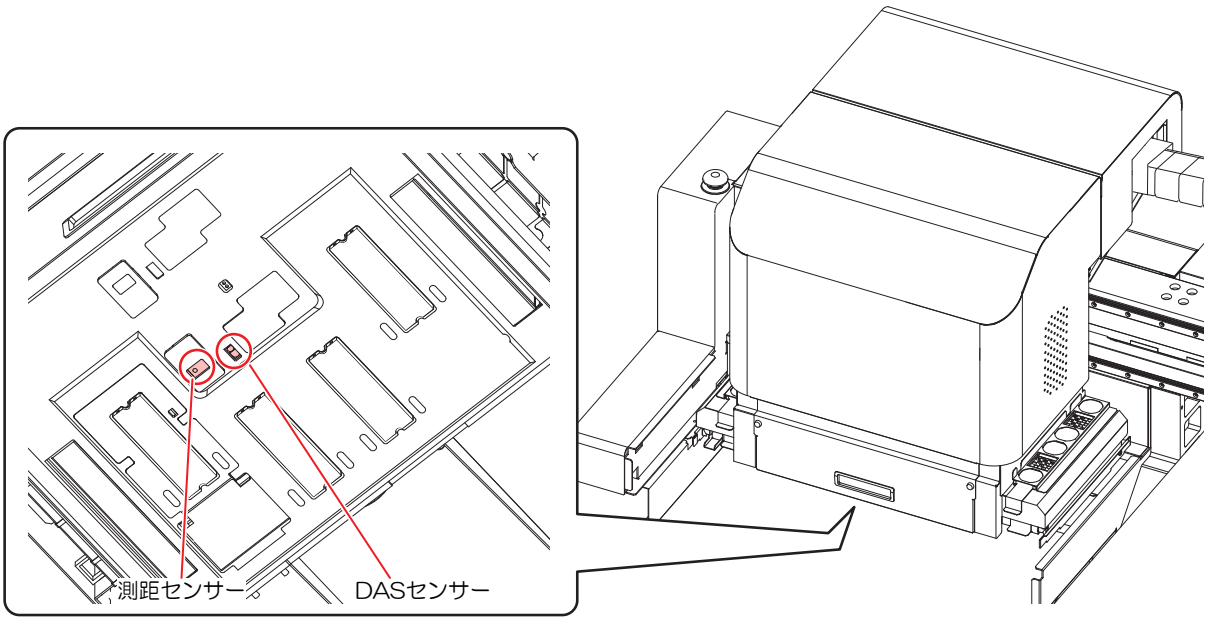
- UV-LEDガラスをクリーンスティックで強くこすらないでください。UV-LEDガラスが破損するおそれがあります。

DASセンサー、測距センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサー、測距センサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、センサーの機能が実行できないおそれがあります。
クリーンスティックや柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

- DASセンサー、測距センサーのみ清掃したい場合は、ヘッド周辺のメンテナンス手順１～3を実施してキャリッジを移動させてから清掃してください。

1 **DASセンサー、測距センサーの汚れを拭き取る。**



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

4. ヘッドノズル面のメンテナンス

吐出の抜けや曲がりの予防としてヘッドノズル面をメンテナンス液11、またはメンテナンス液15で清掃してください。

- ヘッドノズル面の清掃は、メンテナンス液11、メンテナンス液15以外は使用しないでください。本機の故障や吐出不良の原因になります。

- プリントヘッドは非常に繊細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分に注意してください。

清掃に必要な道具	• ヘッド周辺用クリーンスティック（品番：SPC-0527）	• メンテナンス液11 • メンテナンス液15

- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

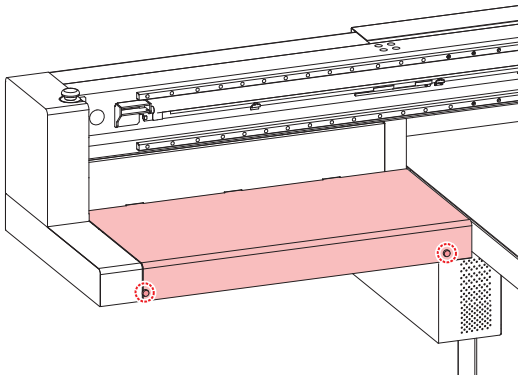
- インク、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入るおそれがあります。

1 **ヘッドクリーニング[ノーマル]を実施する。ヘッドクリーニングをする**

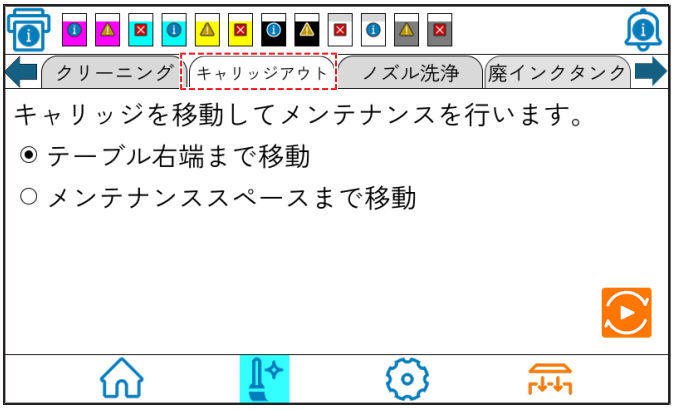
- ノズル面にインクの付着がないように、メンテナンス前にクリーニングを実施してください。

2 **Yバー左側のカバーを外す。**

- 化粧ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。



3 **メンテナンス画面で、[キャリッジアウト]をタップする。**



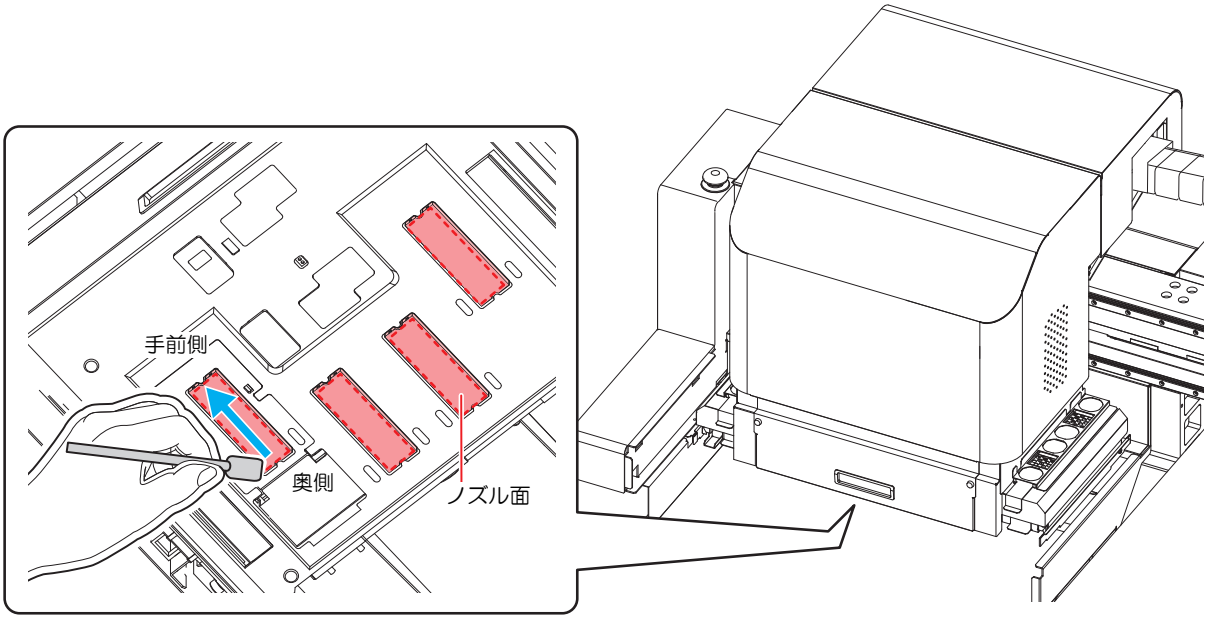
4 [メンテナンススペースまで移動]を選択する。

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

5 クリーンスティックにメンテナンス液を染み込ませる。

6 プリントヘッドノズル面を清掃する。

- ヘッドの奥側から手前に向けて、クリーンスティックでヘッドノズル面を清掃してください。



- 必ずクリーンスティックで清掃してください。
- ノズル面をこすったり、スポンジ部を指で強く押さえつけたりしないでください。ノズル面が傷つき、吐出不良の原因になります。
- 一度使用したクリーンスティックは再利用しないでください。ノズル詰まりの原因になります。

7 清掃が終了したら、[ノズル周辺清掃]の[実施]にチェックを入れ、をタップする。

- キャリッジが元の位置に戻ります。



8 ヘッドクリーニング[ノーマル]を実施する。ヘッドクリーニングをする

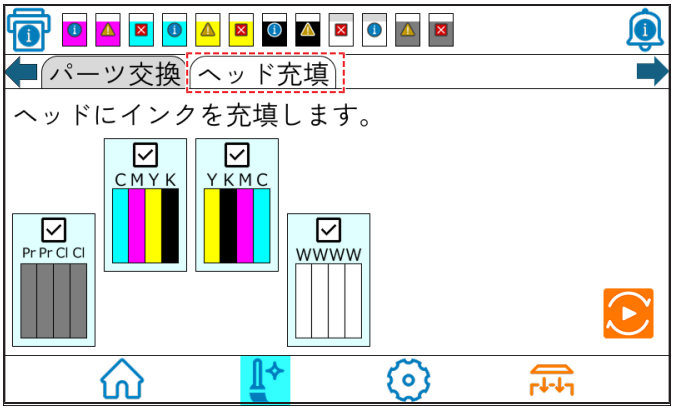
5. ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニングヘッドクリーニングをするをしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の機能を実行してください。

ワイパーとキャップの清掃	• ワイパーとキャップを清掃します。 ☞「ワイパーとキャップの清掃」（P. 15）
ヘッドノズル面のメンテナンス	• ヘッドノズル面を清掃します。 ☞「ヘッドノズル面のメンテナンス」（P. 28）
ヘッド充填	• ヘッドにインクを充填します。 ☞「サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う」（P. 30）
ノズル洗浄	• ヘッドノズルを洗浄します。 ☞「ヘッドノズルの洗浄」（P. 31）
空気抜き	• ヘッド内のインクや混入してしまった空気を抜きます。 ☞「空気抜きを行う」（P. 37）
ノズルリカバリ	• ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントします。 ☞「ノズルリカバリー機能」（P. 41）

サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う

1 メンテナンス画面の[ヘッド 充填]をタップする。



2 をタップする。

- キャリッジが移動し、充填が開始します。

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認してください	[インク エンド]は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクエンドを検出していない、新品のインクボトルに交換してください。

1 メンテナンス画面の[ノズルの洗浄]をタップする。



2 をタップする。

• キャリッジが移動します。

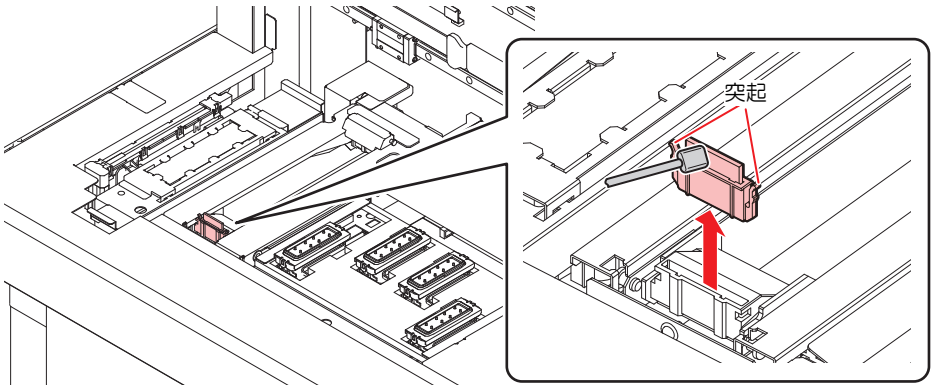
3 ワイパーとブラケットを清掃する。

(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く。

(2) クリーンスティックにメンテナンス用洗浄液を含ませて清掃する。

• メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

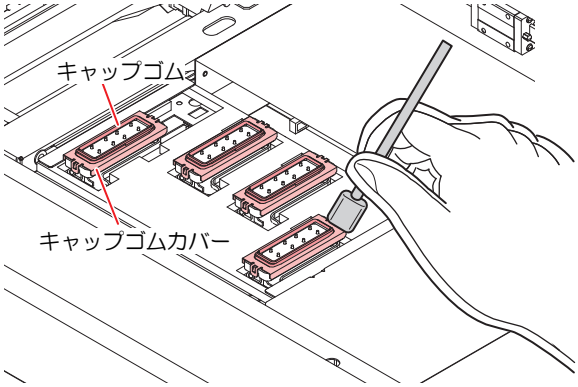
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む。



4 清掃が終了したら、をタップする。

5 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

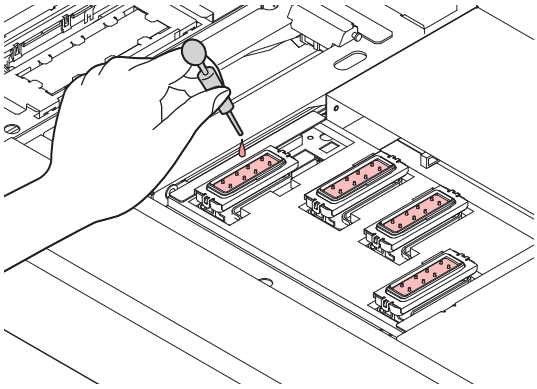
- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



6 清掃が終了したら、をタップする。

7 スポイトにメンテナンス用洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



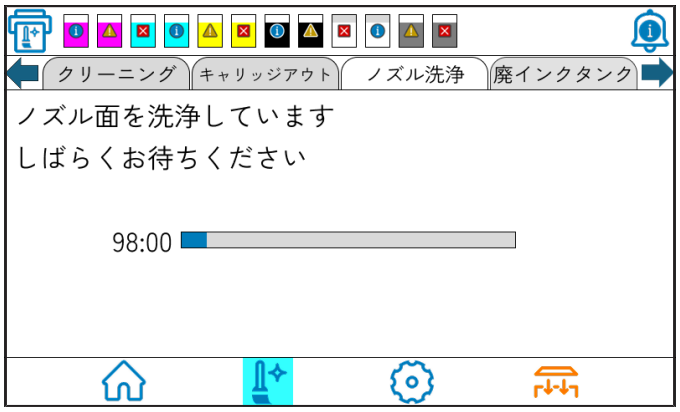
8 終了したら、をタップする。

9 放置時間を入力します。

- ML007洗浄液をお使いの場合：推奨時間は1分
- ML016洗浄液をお使いの場合：推奨時間はノズル状態に応じて10分
- PR-200洗浄液をお使いの場合：推奨時間は1分

10  をタップする。

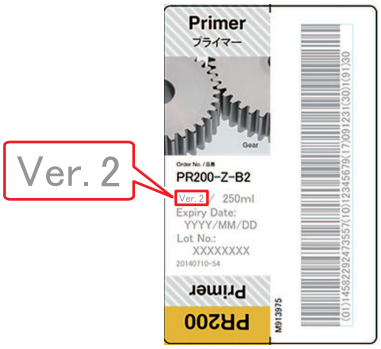
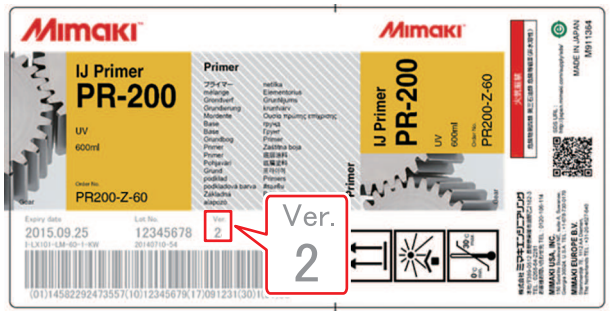
- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- キャップに洗浄液を放置している間、以下の画面を表示します。



重要！ • この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

ヘッドノズルの洗浄(PR-200インク使用時)

PR-200 を搭載している機種は、ノズル詰まりが発生することがあります。PR-200インクカートリッジ・パック・ボトルのラベルに表記されているVer.を確認し、 Ver.2の場合は1 週間に 2 回、Ver.3の場合は月1回の頻度でノズルを洗浄してください。

ラベル　Ver. 表記位置	
220mL カートリッジ	250mL ボトル
	
600mL パック	1L ボトル
	

必要なメンテナンス液	• F-200/LF-200メンテナンス液 (SPC-0568)	• PR-200メンテナンス液 (C-ML013-Z-B2-1-KW)

1 メンテナンス画面の[ノズルの洗浄]をタップする。



2 をタップする。

- キャリッジが移動します。

重要! • ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ):ENT] が表示されます。手順4の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

3 ワイパーとブラケットを清掃する。

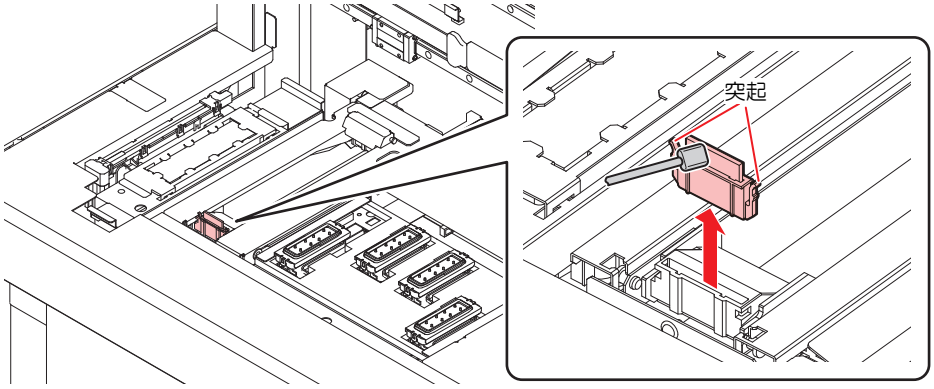
(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く。

(2) クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液(SPC-0568) を含ませて清掃する。

- F-200/LF-200メンテナンス用洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む。

重要! • ワイパー、ブラケット、キャップゴム、キャップゴムカバーの清掃には必ずF-200/LF-200メンテナンス液を使い、PR-200メンテナンス液(C-ML013-Z-B2-1-KW)は使用しないようにしてください。

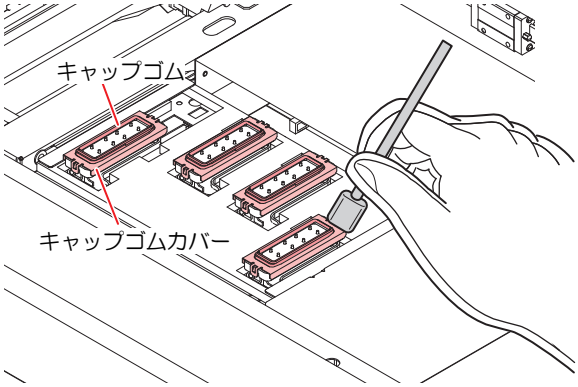


重要! • キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ):ENT] が表示されます。手順6の作業が完了してから[ENTER]キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER]キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 清掃が終了したら、をタップする。

5 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する。

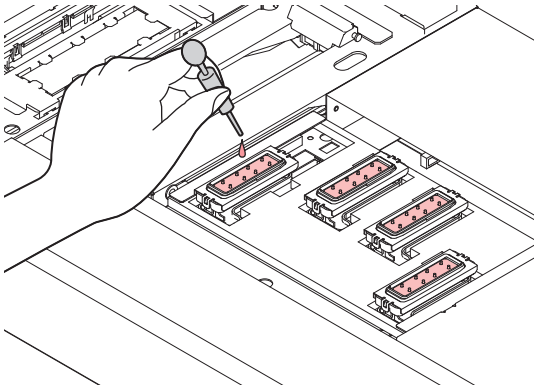
- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、F-200/LF-200メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。F-200/LF-200メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



6 清掃が終了したら、をタップする。

7 スポイトにPR-200メンテナンス液(C-ML013-Z-B2-1-KW)をとり、PR-200搭載ヘッドのキャップにのみ一杯に満たす。

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



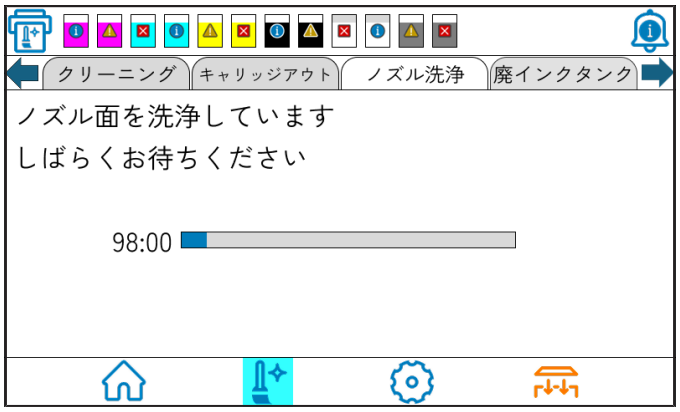
8 メンテナンス液を満たしたら、をタップする。

9 放置時間を入力します。

- 推奨時間は1分です。

10 をタップする。

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- キャップに洗浄液を放置している間、下記の画面を表示します。



- 放置時間が過ぎると、手順2の表示に戻ります。

11 PR-200搭載ヘッドに、ヘッドクリーニング(ハード)を1回実施する。

(1) メンテナンスメニューの[クリーニング]をタップする。
(2) タイプ選択で[ハード]を選ぶ。
(3) ヘッド選択で、ヘッド3のみを選び、 をタップする。

12 テストプリントをして、ノズルの状態を確認する。

- ノズル抜けが見られる場合は、再度ノズルクリーニング(ハード)を実行し、ノズルの状態を確認してください。

重要！
- この洗浄を3回繰り返してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

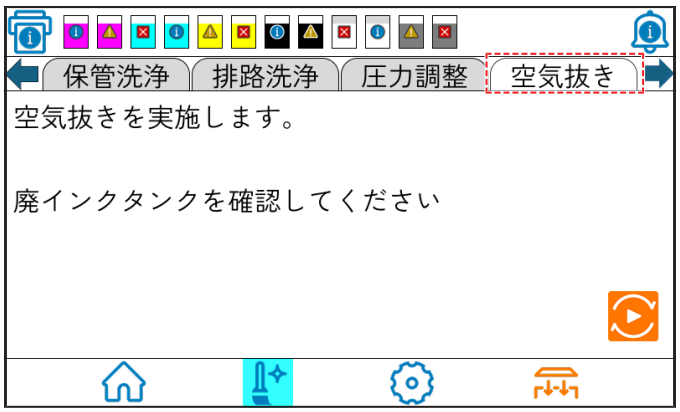
空気抜きを行う

ヘッド内でインクが混色してしまった場合や空気の混入によるノズル抜けが発生した場合は、ヘッド内のインクや混入してしまった空気をポートから押し出してください。

- ノズル抜けを未然に防ぎ、快適にご使用いただくため、1ヶ月に1回程度のエア抜き実施を推奨します。

1 メンテナンス画面の[空気抜き]をタップする。

- 以下の画面が表示されます。廃インクタンクを確認してください。

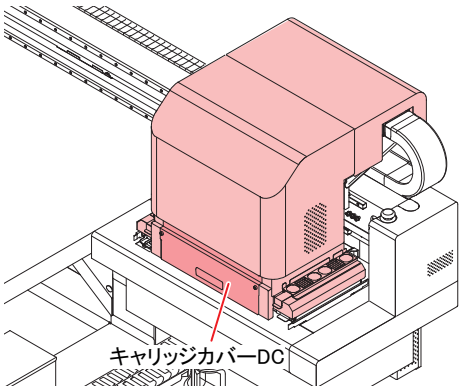


2 をタップする。

3 ヘッドを選ぶ。

- Yバーが一番手前まで移動してから、キャリッジがワイパー上に移動します。

4 キャリッジカバーDCを開ける。



重要! ・ 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。

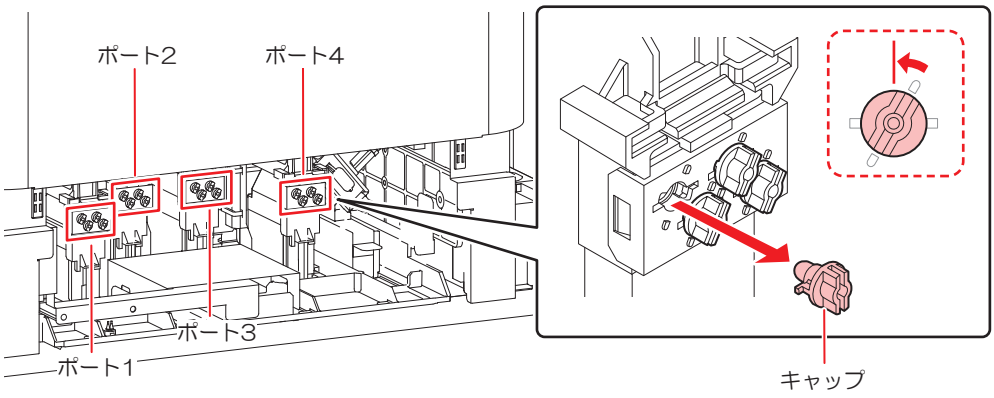
5 対象となるポートのキャップを外す。

- ポートのレイアウトは下図の通りです。

	ヘッド1	ヘッド2	ヘッド3	ヘッド4
4色	C Y M K	C Y M K	Y M K C	Y M K C

4色+W+Pr+Cl	Pr Cl Pr Cl	C Y M K	Y M K C	W W W W
6色+Fp+Fy+W+Cl+Pr	Pr Cl Pr Cl	C Y M K	Fy Lm Fp Lc	W W W W

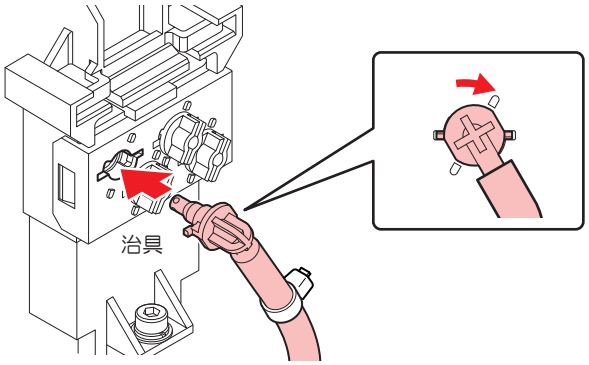
- キャップは反時計方向へ30° 程回してから外してください。
- 外したキャップにはインクが付着しています。周囲を汚さないよう、ペーパータオルなどの上に仮置きしてください。
- 空気抜きはヘッドごとに行います。ヘッド1の空気抜きを行う際は、ヘッド2、ヘッド3、ヘッド4のキャップを外さないでください。



- キャップを外しても、内部の機構によりインクがあふれ出すことはありません。

6 本体付属の空気抜き治具（SP-01046）をポートに接続する。

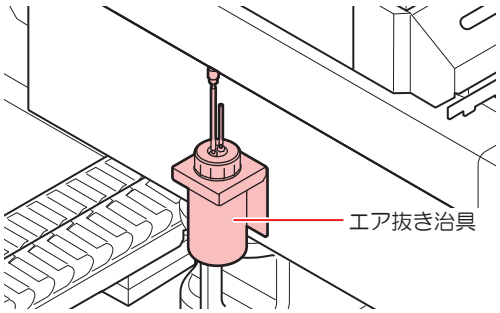
- 治具の接続はキャップ同様、先端をポートに押し込み、時計方向へ30° 回転させてください。



治具を空気抜きポートに差し込み、固定する

- 空気抜きは、同一ヘッドの2ポート同時に行えます。

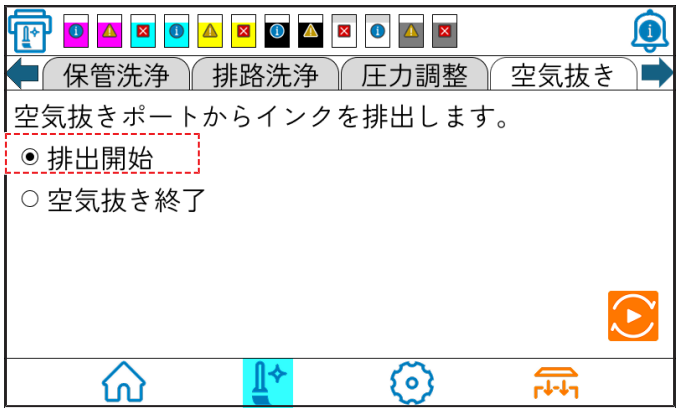
重要！
- エア抜き治具のボトルにはマグネットが付いています。空気抜きをおこなうときは、下図のカバーのなるべく下の位置に治具を取り付けてください。



- 治具は、必ず同一ヘッド内の任意２ポートに接続してください。１ポートのみに治具を接続して空気抜きをおこなうと、接続していないポートからインクが流出する恐れがあります。
- 治具の瓶内のインクは、空気抜き3回程度ごと小まめに廃液してください。瓶の中にインクが溜まりすぎると、インクの重さでカバーに取り付けた治具が落下する恐れがあります。

7 をタップする。

8 [排出開始]を選び、をタップする。



9 混色したインクや混入した空気を排出させる。

- をタップする。と、本機は大気解放状態となり、インク等が勢いよく排出されます。
- 混色したインクや混入した空気が完全に無くなるまで排出させてください。完全に排出されると、混色していないインクが排出されます。
- インク排出中は、ブザー音が一定間隔で鳴り続けます。（1回あたりの所要時間45秒程度）

- インクがポートから流れ出てこない場合は、一時的に治具を床に置いた状態で空気抜きをおこない、インクが流れ始めたらカバーに取り付け直してください。

- 空気抜き後も治具を床に置いたまま放置すると、インクの自重によってヘッド内のインクが治具へ流れ出て、ヘッド内に空気が入り込む可能性があるため注意してください。

10 空気抜きを行う全てのポートに対して、手順9の作業を行う。

- キャリッジが素早く移動する場合が有ります。手、頭や体等をキャリッジに近づけないよう注意してください。

11 以下の画面が表示されたらをタップする。



12 治具を取り外し、キャップを取り付ける。

- 治具を取り外したら、素早くキャップを取り付けてください。

13 キャップを取り付けたら、をタップする。

- 負圧制御が再開し、ワイピングを始めます。



14 以下の画面が表示されたらをタップする。



15 キャリッジカバーDCを閉じる。

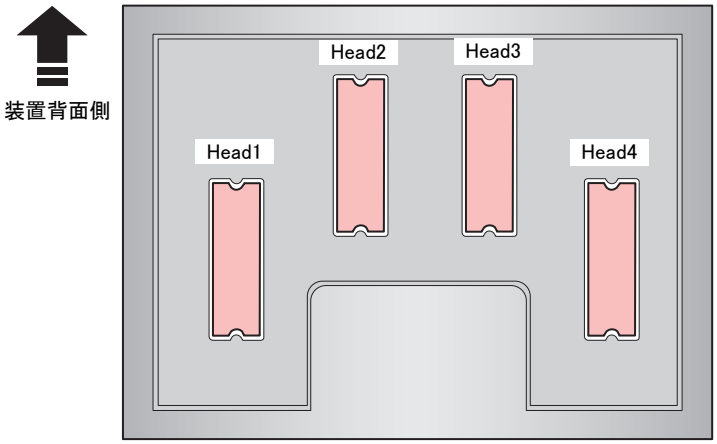
重要!
- 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。
- 使用後の治具はチューブと瓶内のインクを排出し、遮光して保管してください。

ノズルリカバリー機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用（ノズルリカバリ）してプリントすることができます。

本機のヘッドは下図のように構成されています。

ノズルリカバリー機能では、ヘッド1～4それぞれのノズル列を指定して、リカバリの設定をすることができます。

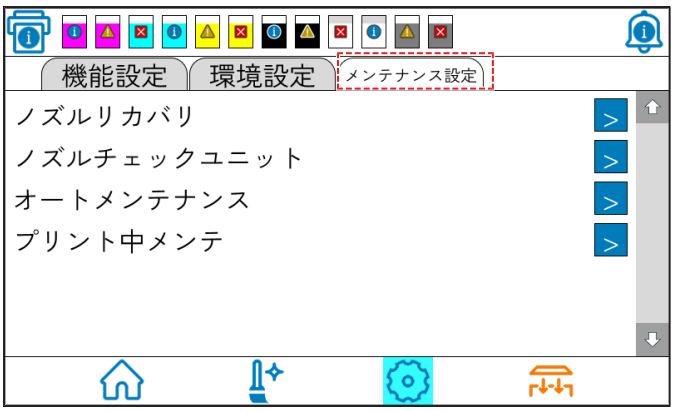


- 本機は、1つのヘッドに対して4つのノズル列（A列・B列・C列・D列）で構成されています。

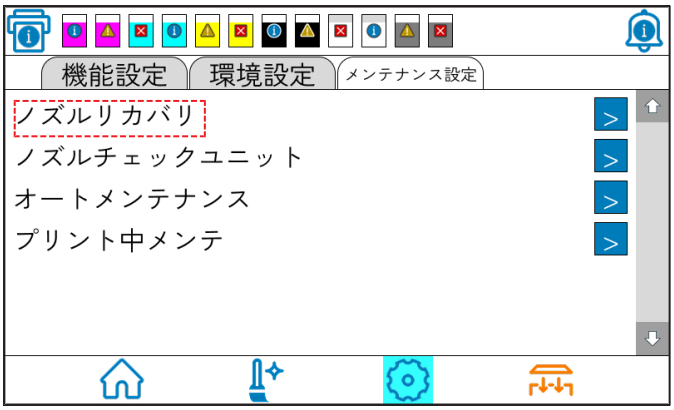


パターンを印刷して確認する

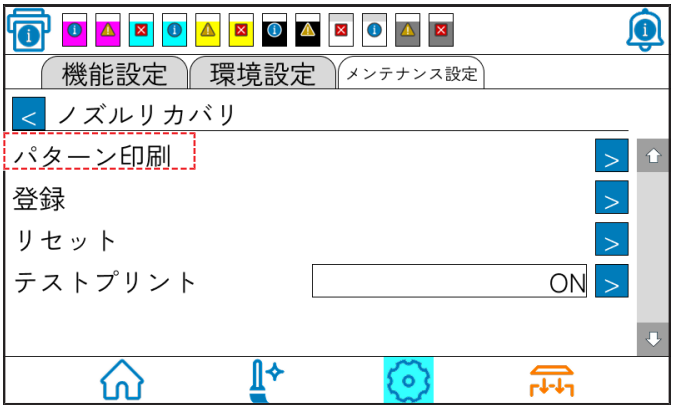
1 設定画面の[メンテナンス設定]をタップする。



2 [ノズル リカバリ] をタップする。



3 ［パターン印刷］をタップする。



4 プリントするヘッドを選ぶ。

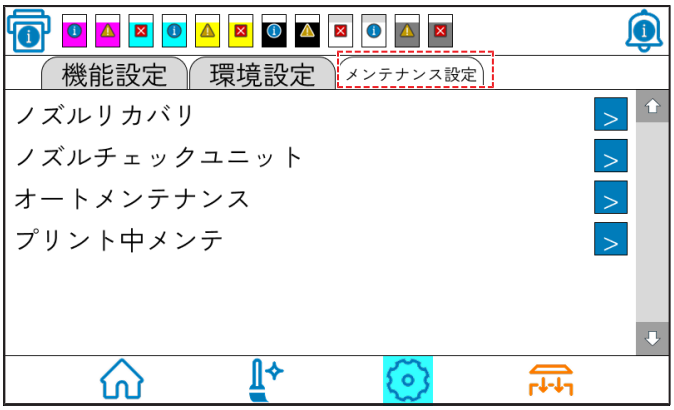
- ノズルパターンがプリントされます。



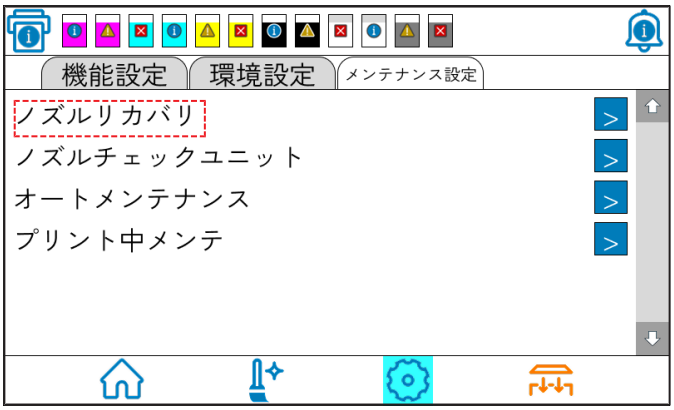
- 白インクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。

ノズルリカバリを登録する

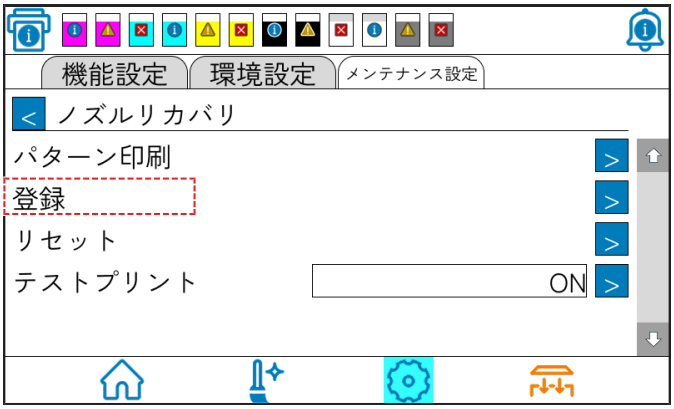
1 設定画面の[メンテナンス設定]をタップする。



2 [ノズル リカバリ] をタップする。



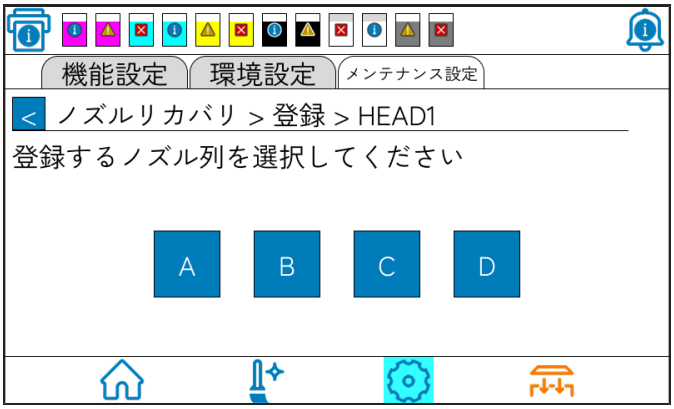
3 ［登録］をタップする。



4 登録するヘッドを選ぶ。



5 ノズルリカバリをするノズル列を選ぶ。

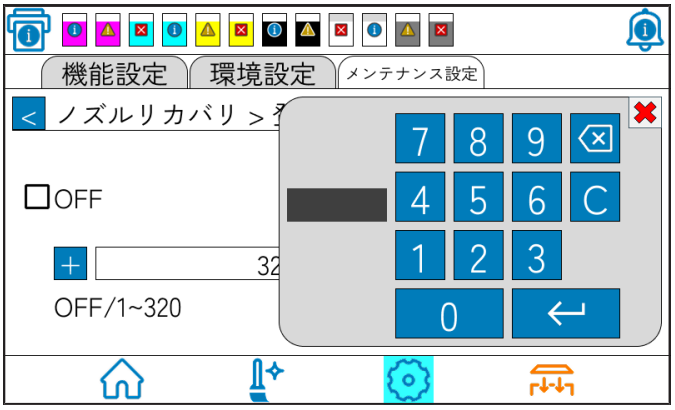


6 リカバリが必要なノズル番号を登録する。

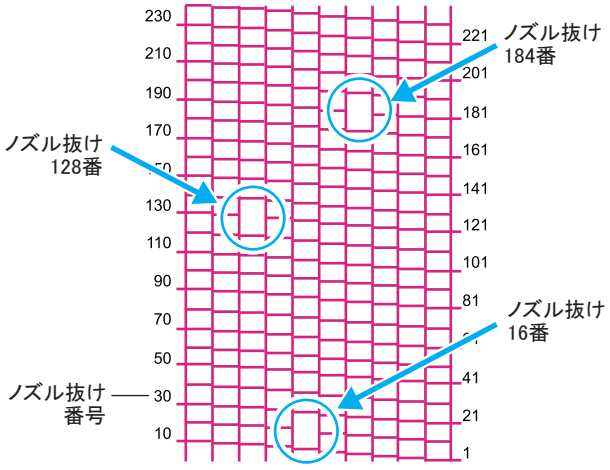
(1) 登録番号（№1～10）を選ぶ。



(2) ＋ － をタップ、または数値を入力してリカバリするノズル番号を登録します。



- リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

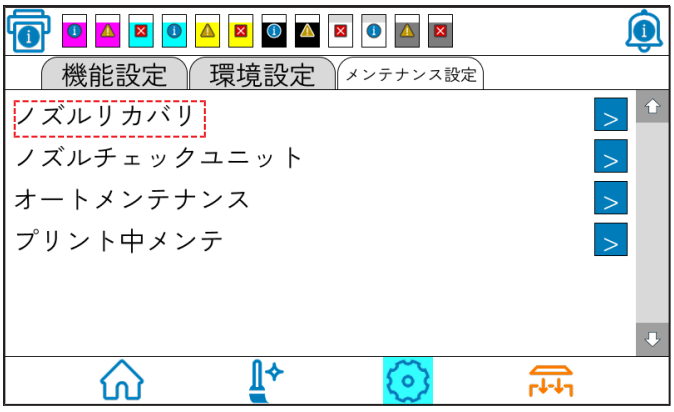
重要!
- 1ノズル列あたり10個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 印刷条件の最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効です。
- ノズルリカバリを登録しても、テストプリントなどのパターンはリカバリされません。

設定値をリセットする

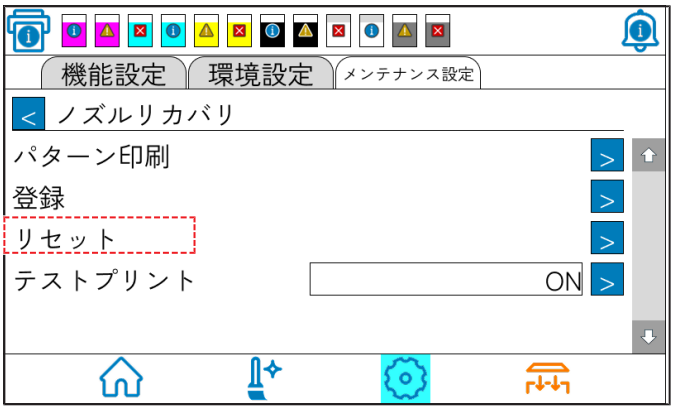
1 設定画面の[メンテナンス設定]をタップする。



2 [ノズル リカバリ] をタップする。



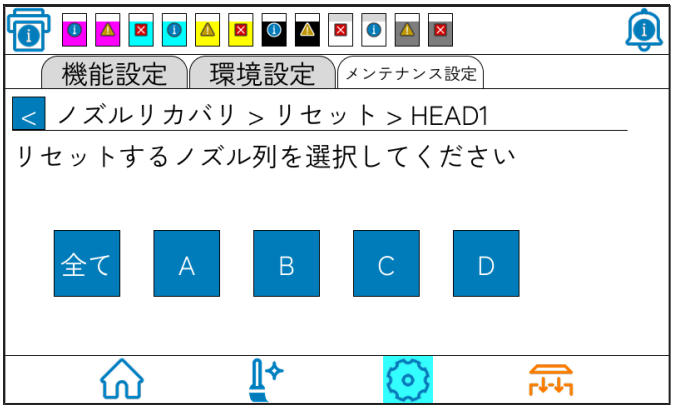
3 ［リセット］を選ぶ。



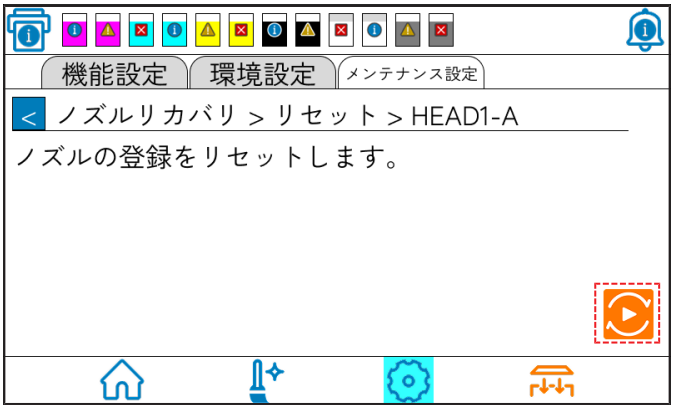
4 設定値をリセットするヘッドを選ぶ。



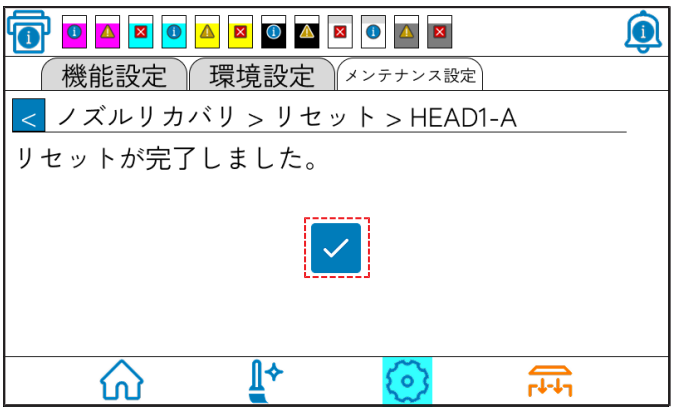
5 リセットするノズル列を選ぶ。



6 以下の画面が表示されたら  をタップする。



7 以下の画面が表示されたらをタップして終了する。



6. オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。（オートメンテナンス機能）

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

重要！
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

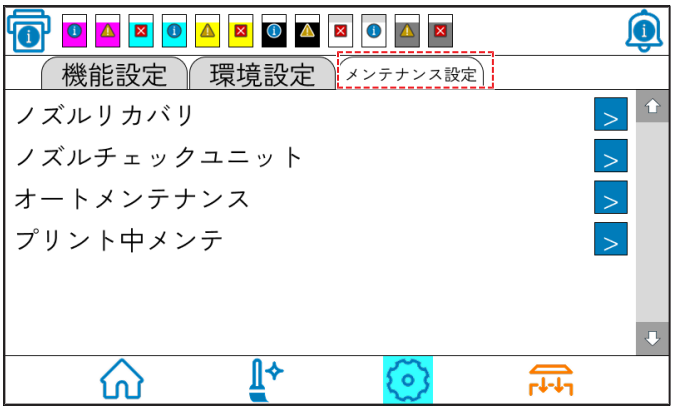
機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

重要！
- “廃インクタンク確認”のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて☞「廃インクの廃棄」（P. 55）の操作をしてください。
- 本機前面の電源ボタンをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 **設定画面の[メンテナンス設定]をタップする。**



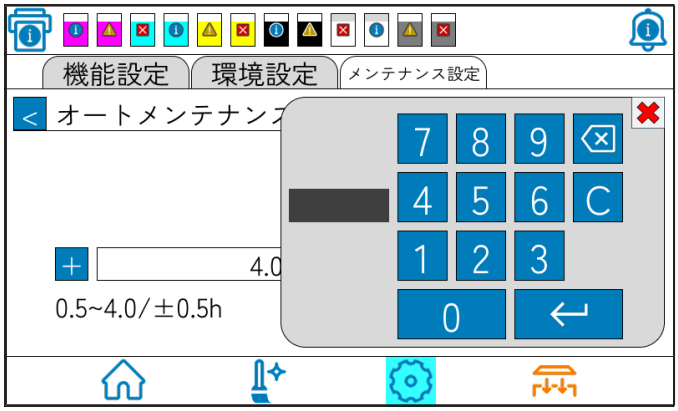
2 **[オート メンテナンス]をタップする。**

3 [リフレッシュ]をタップする。



4 [+] [-] をタップ、または数値を入力してリフレッシュ間隔を設定する。

- 設定値:0.5h～4.0h
- 推奨値:1.0h



5 [✓] をタップする。

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 設定画面の[メンテナンス設定]をタップする。

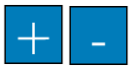


2 [オート メンテナンス]をタップする。

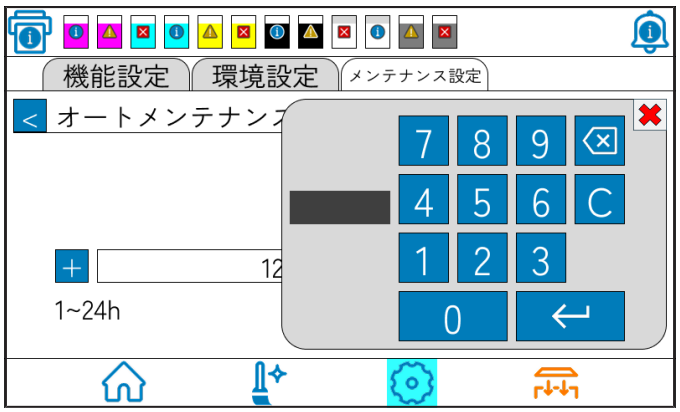
3 [クリーニング間隔]をタップする。

- 以下の画面が表示されます。



4  をタップ、または数値を入力してクリーニングを行う間隔を設定する。

- 設定値：1h～24h
- 推奨値：12h



5 クリーニングタイプを選ぶ。

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード
- 推奨値：ソフト



6  をタップする。

7. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。
消耗品は、弊社ホームページにてご覧になれます。
https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。“ワイパー交換”のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。

また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

重要! ・ クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 メッセージが表示されたら、メンテナンス画面の[パーツ交換]をタップする。



2 [ワイパー交換]をタップする。



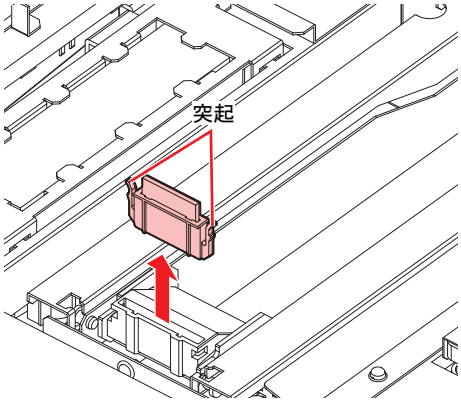
3 以下の画面が表示されたらをタップする。

- キャリッジがテーブル上に移動します。



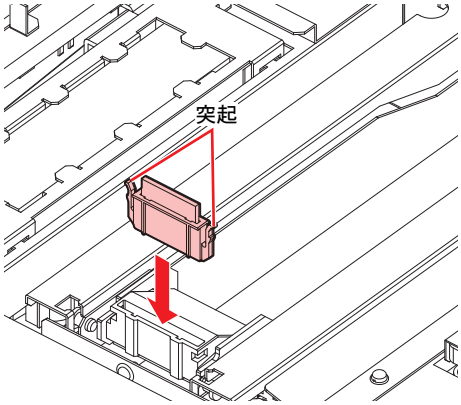
4 ワイパーを取り出す。

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



5 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



6 ワイパーを交換したらをタップする。

キャリッジフィルターの交換

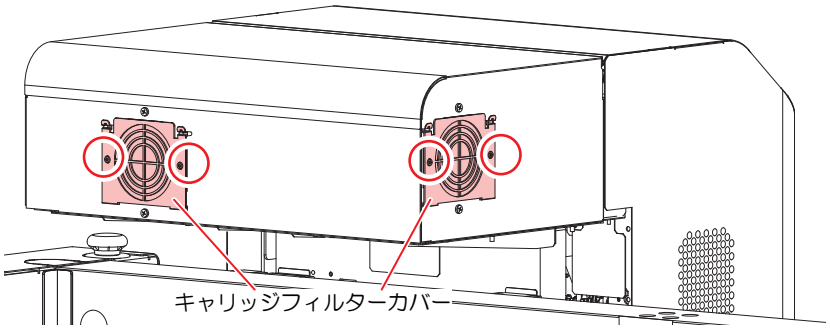
1〜2週間に一度交換してください。

- 主電源を切ってからメンテナンスをしてください。

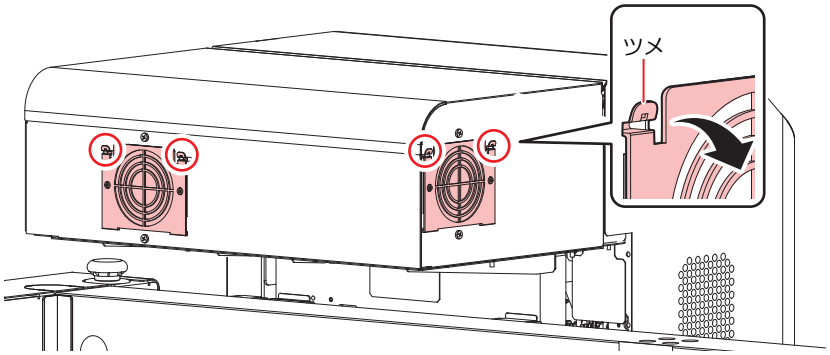
1 キャリッジフィルターカバーを取り外す。

- キャリッジの左面と背面にある、キャリッジフィルターカバーを取り外します。

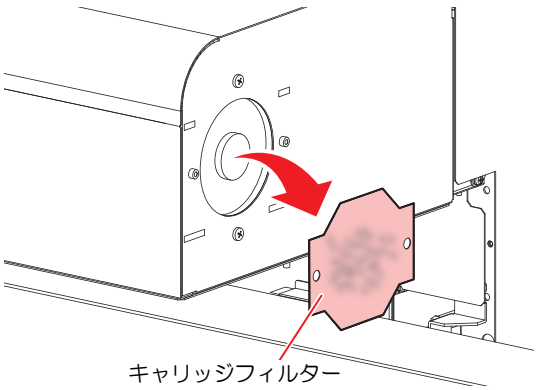
(1) ネジ（各2）を外す。



(2) キャリッジフィルターカバーの上部についているツメをつまんで、手前に引いてください。

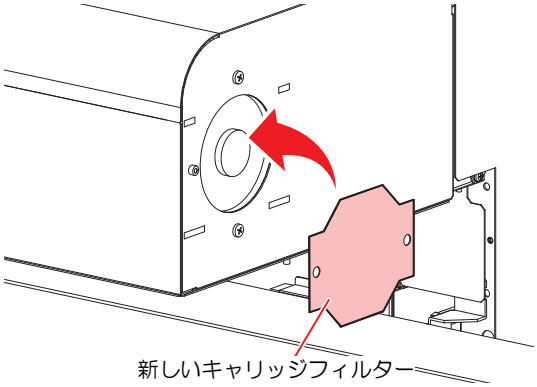


2 使用済みのキャリッジフィルターを取り外す。



3 新しいキャリッジフィルター（品番：SPA-0189）を取り付ける。

- キャリッジフィルター左右の穴をキャリッジの凸部に入れ込んでください。



重要！
- キャリッジフィルターはキャリッジの左面と背面にあります。
  交換するときは、全てのフィルターを同時に交換してください。

4 キャリッジフィルターカバーを元の状態に戻す。

廃インクの廃棄

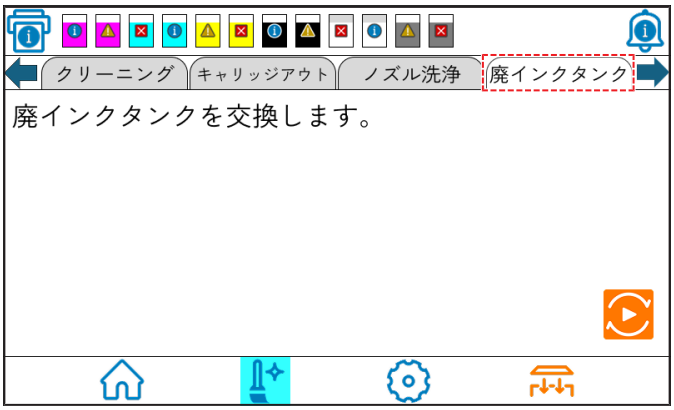
ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量をセンサー検知し、一定の量になるとワーニングが表示されます。廃インクタンク交換の目安としてお使いください。

- 2.6Lタンクの70%（約1.9L）でメッセージを表示します。

- 廃インクタンクを廃棄するときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
  インクが目に入る場合があります。

重要！
- 本機の動作中（プリント中またはクリーニング中）は、廃インクタンクの交換はしないでください。
- 作業中に廃インクがこぼれた場合は、ウエス等で拭き取ってください。

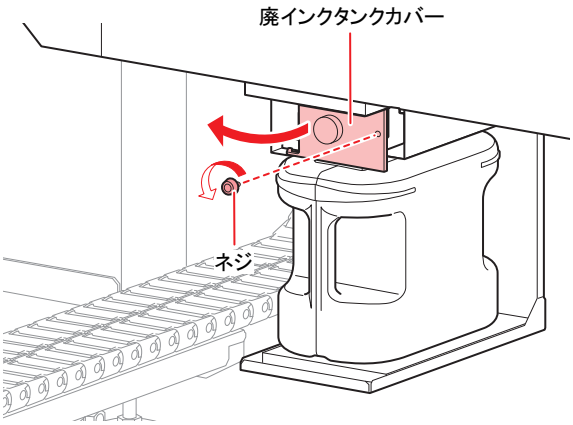
1 メンテナンス画面の[廃インクタンク]をタップする。



2 をタップする。

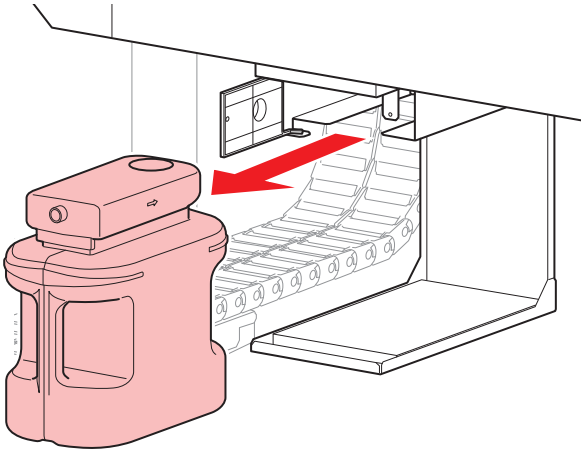
3 廃インクタンクカバーを開く。

- 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



4 廃インクタンクを取り出す。

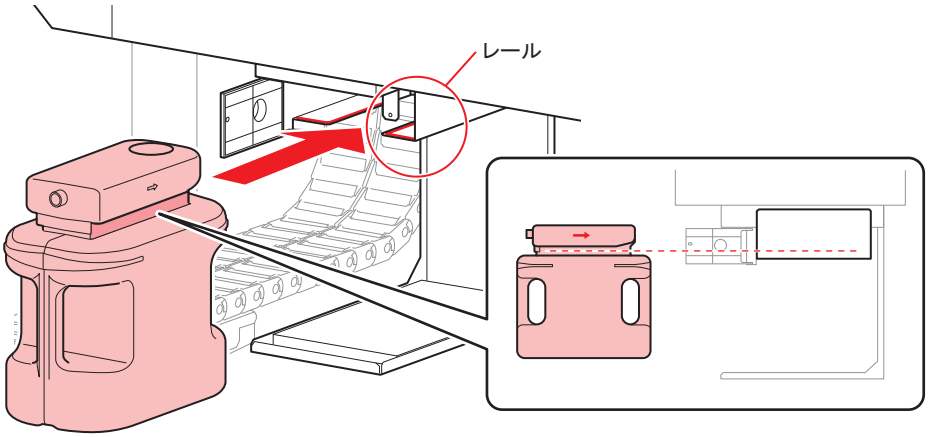
(1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す。
(2) 取り出した廃インクタンクにキャップをはめる。



5 廃インクタンクを交換したら をタップする。

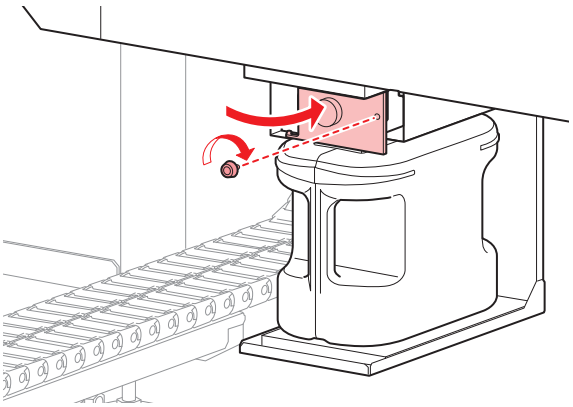
6 廃インクタンクを交換する。

(1) 新しい廃インクタンクを用意する。
(2) 廃インクタンクを持ち上げて排水口の真下にセットされているか確認する。



- 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系（川等）、生活排水（トイレ、道路等）への漏洩流出を防いでください。

7 廃インクタンクカバーを閉じる。



8 をタップする。

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法はインクボトルを交換するを参照してください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

ミストフィルターの交換





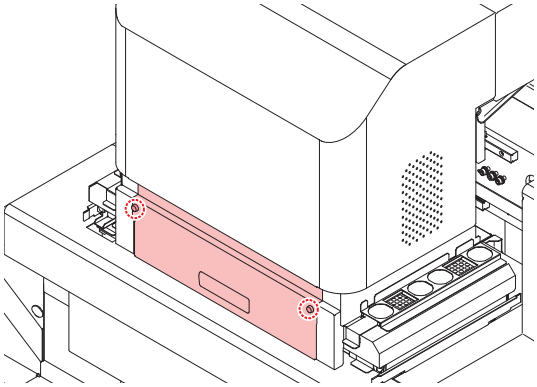
- 本作業を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
  インクが目に入る場合があります。

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

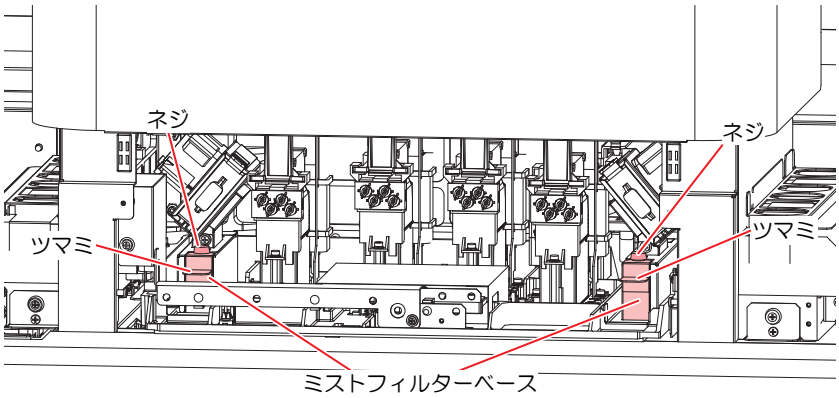
1 キャリッジカバーDCを取り外す。

- ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。

重要！
- 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。

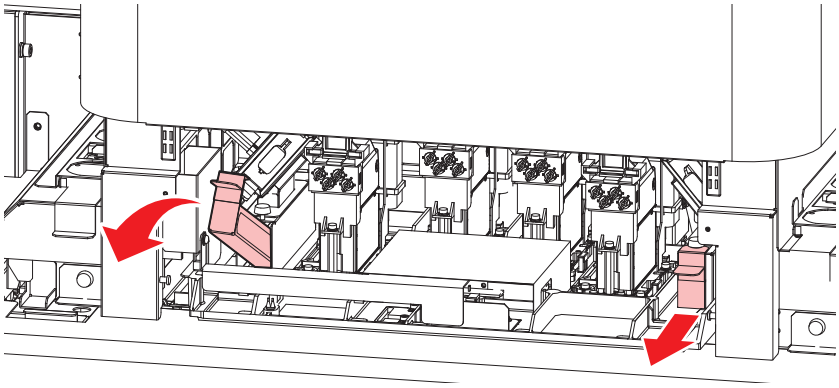


2 固定ネジを緩めミストフィルターベースを引き抜く。





- 左側は上にあげながら引き抜きます。

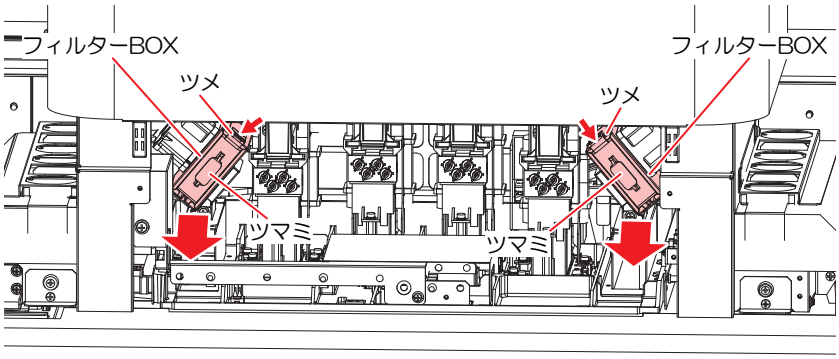


3 フィルターBOXを引き抜く。

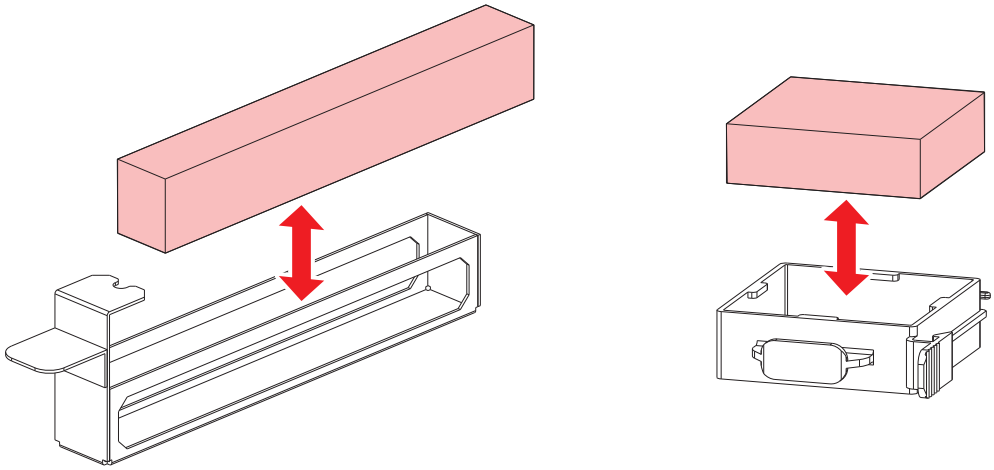
- 爪を押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。



- 爪のある方向に持ち上げながら、爪を外すと簡単に外れます。



4 交換が必要なフィルター（品番：SPC-819）を新しいものに交換する。



5 ミストフィルターベースを差し込む。

6 手順2で外した固定ネジを締める。

7 フィルターBOXを差し込む。

- カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。



- 左右で向きが異なりますので、注意して取り付けてください。

8 キャリッジカバーDCを閉じる。

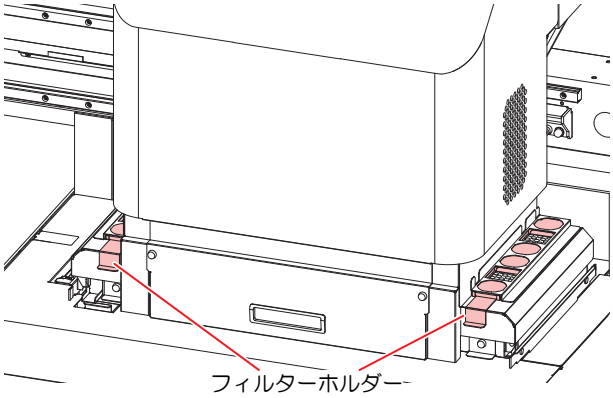
UV LEDフィルターの交換



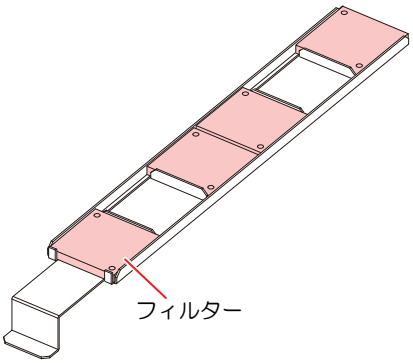

- 本作業を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
  インクが目に入る場合があります。

UV LEDフィルタの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 フィルターホルダーを引き抜く。



2 左右それぞれ4枚新しいフィルター（品番：SPC-01044）に交換する。



3 フィルターホルダーを元に戻す。



- 奥まで挿し込み、マグネットにより固定されていることを確認してください。

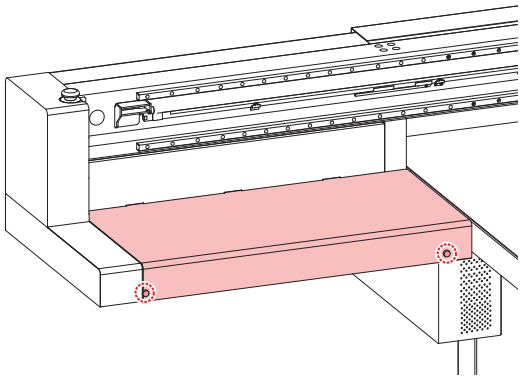
UV LEDガラスの交換

UV LEDガラスの状態を確認して、汚れが激しいとき、割れやひびがある場合は交換してください。

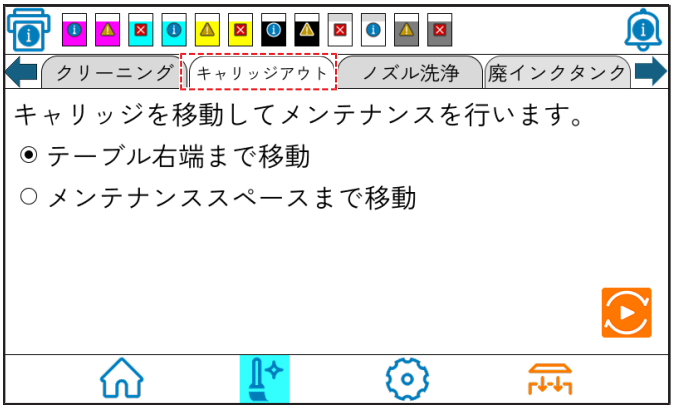
- 本部材にはガラスが使用されています。取り扱いの際は、破損や衝撃を与えないよう十分注意してください。
- UV-LED装置は非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、UV-LED装置消灯後、十分温度が下がってから行ってください。やけどのおそれがあります。
- 本作業を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
  インクが目に入る場合があります。

1 **Yバー左側のカバーを外す。**

- 化粧ネジ（2箇所）を外して、カバーを取り外します。



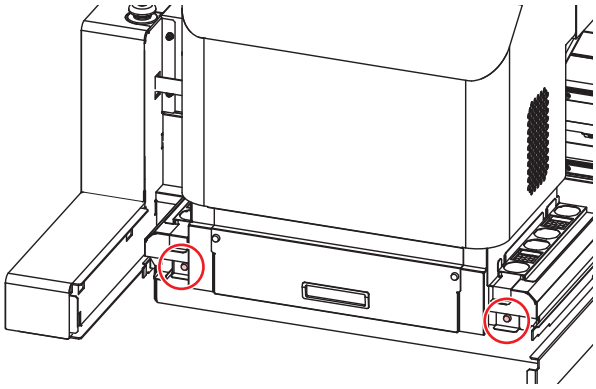
2 **メンテナンス画面の[キャリッジアウト]をタップする。**



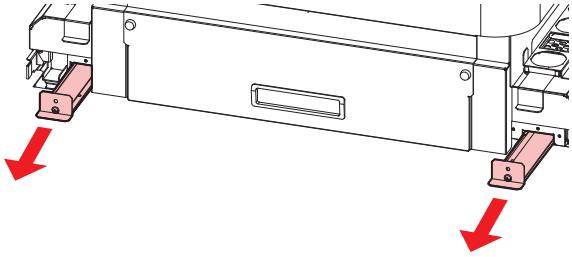
3 **[メンテナンススペースまで移動]を選択する。**

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

4 ネジを外す。



5 UV LEDガラスを引き抜く。



6 新しいUV LEDガラスを挿し込む。

- UVLEDガラス左　品番：SP-01042
- UVLEDガラス右　品番：SP-01043

- ガラス面には触らないでください。
- 左右で向きが異なりますので、注意して取り付けてください。
- ガラスにひび割れや破損がある場合は、ガラス片の落下やけがを防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

7 ネジを締める。

8. フラッシングフィルターについて

交換に必要な道具	• F-200/LF-200 メンテナンス用洗浄液（品番：SPC-0568）	• 保護メガネ
	• ウエス	• 手袋



• 交換を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
フラッシングフィルターにはインクが吸収されているため、インクが目に入る場合があります。

フラッシングフィルターを交換する

フラッシングフィルターは定期的に交換する必要があります。

次のような交換メッセージが表示されたら、RF吸収剤(フラッシングフィルター)品番：SPC-0768を交換してください。

1 フラッシングフィルターの交換時期になると“フラッシングフィルターの交換”のメッセージが表示される。

2 メッセージが表示されたら、メンテナンス画面の[パーツ交換]をタップする。

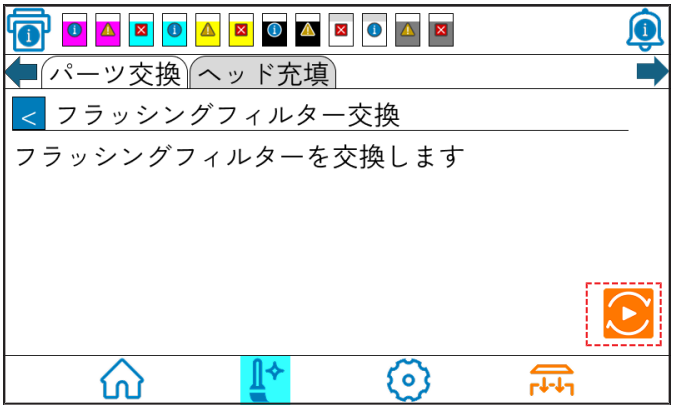


3 [フラッシングフィルター交換]をタップする。

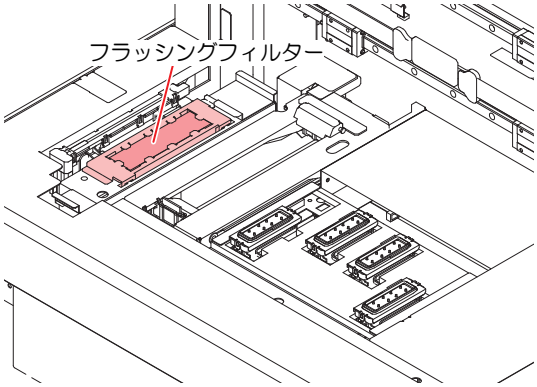


4 以下の画面が表示されたらをタップする。

- キャリッジが移動します。



5 フラッシングフィルターを交換します。



6 交換が完了したらをタップする。

- キャリッジがステーションに戻ります。

JFX220-2515 お手入れのお願い

2026年11月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203990-10-13112026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

KM
FW : 1.0